

運用報告書

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 内外/債券	
信託期間	信託期間は2010年1月20日から2020年1月23日までとします。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要運用対象	世界ハイブリッド証券 ファンド通貨選択 シリーズ(毎月分配型) 〈円コース〉	主として円建ての外国投資信託である「ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (JPY)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託であるDIAMマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	世界ハイブリッド証券 ファンド通貨選択 シリーズ(毎月分配型) 〈豪ドルコース〉	主として円建ての外国投資信託である「ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託であるDIAMマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	世界ハイブリッド証券 ファンド通貨選択 シリーズ(毎月分配型) 〈ブラジルレアルコース〉	主として円建ての外国投資信託である「ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (BRL)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託であるDIAMマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	世界ハイブリッド証券 ファンド通貨選択 シリーズ(毎月分配型) 〈中国元コース〉	主として円建ての外国投資信託である「ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託であるDIAMマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	決算日(原則として毎月23日。)に、経費控除後の配当等および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。	

〈円コース〉
 〈豪ドルコース〉
 〈ブラジルレアルコース〉
 〈中国元コース〉

第16期 〈決算日〉 2011年5月23日
 第17期 〈決算日〉 2011年6月23日
 第18期 〈決算日〉 2011年7月25日
 第19期 〈決算日〉 2011年8月23日
 第20期 〈決算日〉 2011年9月26日
 第21期 〈決算日〉 2011年10月24日

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)」は、2011年10月24日に第21期の決算を行いました。

ここに、第16期～第21期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

DIAMアセットマネジメント

東京都千代田区丸の内3-3-1

(URL) <http://www.diam.co.jp>

〈運用報告書に関するお問い合わせ先〉

コールセンター：0120-506-860

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
 お客様のお取引内容につきましては、購入された
 販売会社にお問い合わせください。

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）〈円コース〉

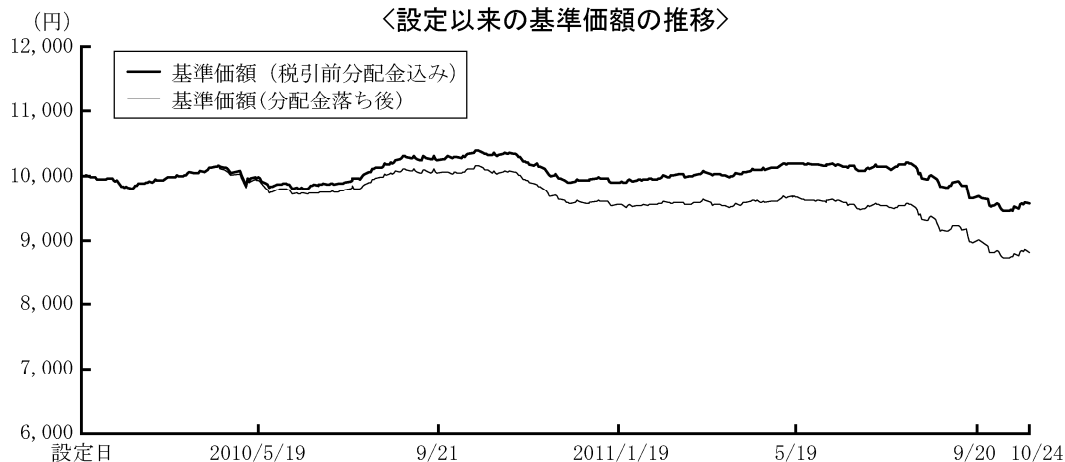
■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 受託証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税 分 配	期 騰 落 率		
第1作成期	(設定日) 2010年1月20日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 —
	1期(2010年2月23日)	9,806	0	△1.9	99.0	1,145
	2期(2010年3月23日)	9,985	0	1.8	99.1	1,170
	3期(2010年4月23日)	10,102	40	1.6	99.1	1,227
第2作成期	4期(2010年5月24日)	9,794	40	△2.7	98.8	1,166
	5期(2010年6月23日)	9,733	40	△0.2	99.0	1,148
	6期(2010年7月23日)	9,800	40	1.1	99.1	1,167
	7期(2010年8月23日)	10,053	40	3.0	99.2	1,192
	8期(2010年9月24日)	10,060	40	0.5	99.2	1,192
	9期(2010年10月25日)	10,049	40	0.3	99.1	1,189
第3作成期	10期(2010年11月24日)	9,865	40	△1.4	99.2	1,284
	11期(2010年12月24日)	9,576	40	△2.5	93.9	1,246
	12期(2011年1月24日)	9,503	40	△0.3	99.0	1,214
	13期(2011年2月23日)	9,575	40	1.2	99.0	1,164
	14期(2011年3月23日)	9,527	40	△0.1	99.0	1,135
	15期(2011年4月25日)	9,580	40	1.0	99.0	1,119
第4作成期	16期(2011年5月23日)	9,639	40	1.0	99.1	1,139
	17期(2011年6月23日)	9,534	40	△0.7	99.0	1,102
	18期(2011年7月25日)	9,487	40	△0.1	99.0	1,074
	19期(2011年8月23日)	9,260	40	△2.0	98.1	1,032
	20期(2011年9月26日)	8,913	40	△3.3	97.5	943
	21期(2011年10月24日)	8,812	40	△0.7	97.9	909

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。



■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 組 資 益 入	信 証 比	託 券 率
			騰 落	率			
第16期	(期 首) 2011年 4 月 25 日	円	9,580	%			%
	4 月 末		9,578	△0.0			99.0
	(期 末) 2011年 5 月 23 日		9,679	1.0			99.1
第17期	(期 首) 2011年 5 月 23 日		9,639	—			99.1
	5 月 末		9,615	△0.2			99.2
	(期 末) 2011年 6 月 23 日		9,574	△0.7			99.0
第18期	(期 首) 2011年 6 月 23 日		9,534	—			99.0
	6 月 末		9,479	△0.6			99.0
	(期 末) 2011年 7 月 25 日		9,527	△0.1			99.0
第19期	(期 首) 2011年 7 月 25 日		9,487	—			99.0
	7 月 末		9,532	0.5			99.1
	(期 末) 2011年 8 月 23 日		9,300	△2.0			98.1
第20期	(期 首) 2011年 8 月 23 日		9,260	—			98.1
	8 月 末		9,162	△1.1			98.0
	(期 末) 2011年 9 月 26 日		8,953	△3.3			97.5
第21期	(期 首) 2011年 9 月 26 日		8,913	—			97.5
	9 月 末		8,817	△1.1			97.2
	(期 末) 2011年 10 月 24 日		8,852	△0.7			97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■第16期～第21期の運用経過（2011年4月26日から2011年10月24日まで）

《投資環境》

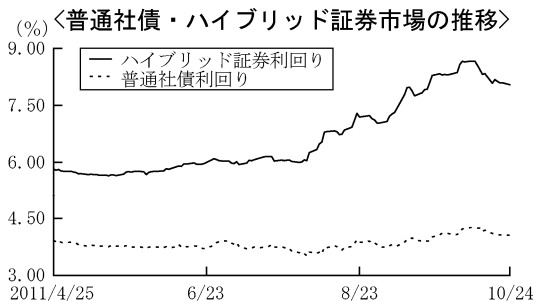
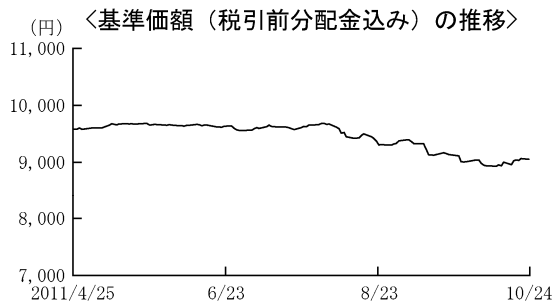
ハイブリッド証券市場

当作成期のハイブリッド証券市場は下落しました。

債務危機にあるギリシャがデフォルト（債務不履行）に陥るとの見方が強まる中、多額の財政赤字を抱える他のユーロ圏諸国にも悪影響が広がるとの懸念が高まりました。加えて、世界的に企業の景況感や一般消費者心理の弱含みが鮮明となる中で、今後世界が景気後退に陥るリスクも意識されました。このような環境下、金融市場ではリスク性資産を回避する動きが強まったことから、ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドは拡大傾向となり、ハイブリッド証券市場は下落しました。一方で、基準となる国債利回りについては、「質への逃避」による買い需要に支えられてドイツや米国の国債利回りが低下したため、ハイブリッド証券市場の上昇要因となりました。

国内短期金融市場

日銀は政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を0～0.1%程度で維持しています。このため国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券の利回りは0.1%程度での安定した推移となりました。



※普通社債利回りはバークレイズ・キャピタル・グローバル総合：社債インデックスの利回り（*）、ハイブリッド証券利回りはバークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスの利回り（*）です。

（*）利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還（コール）もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

※バークレイズ・キャピタル・グローバル総合：社債インデックスは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの投資銀行部門であるバークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格社債市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズ・キャピタルに帰属します。

※バークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの投資銀行部門であるバークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格優先証券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズ・キャピタルに帰属します。

<第16期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 4. 25	2011. 5. 23	2011. 4. 28	2011. 5. 23
9,580円	9,679円	9,578円	9,679円 (分配金込み)

<第17期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 5. 23	2011. 5. 24	2011. 6. 23	2011. 6. 23
9,639円	9,640円	9,574円	9,574円 (分配金込み)

<第18期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 6. 23	2011. 7. 12	2011. 7. 1	2011. 7. 25
9,534円	9,573円	9,476円	9,527円 (分配金込み)

<第19期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 7. 25	2011. 8. 3	2011. 8. 15	2011. 8. 23
9,487円	9,563円	9,298円	9,300円 (分配金込み)

<第20期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 8. 23	2011. 8. 23	2011. 9. 26	2011. 9. 26
9,260円	9,260円	8,953円	8,953円 (分配金込み)

<第21期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 9. 26	2011. 9. 26	2011. 10. 11	2011. 10. 24
8,913円	8,913円	8,731円	8,852円 (分配金込み)

《運用経過》

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (J P Y) の組入比率は、原則として高位を維持し、D I A Mマナーマザーファンドへの投資も行いました。

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は8,812円となりました。第16期から第21期までの1万口当たりの収益分配金合計額240円を加算すると9,052円となり、前作成期末に比べ5.51%下落しました。

基準価額の騰落要因

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (J P Y) の基準価額が下落したため。

— ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (J P Y) —

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は前作成期末に比べ5.00%下落しました。

基準価額の騰落要因

[下落要因] ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドが拡大したこと。

[上昇要因] 主に投資を行った米国及び欧州市場の国債利回りが低下したこと。

DIAMマネーマザーファンド

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は10,036円となり、前作成期末に比べ0.19%上昇しました。

基準価額の騰落要因

[上昇要因] コール・ローン等の短期金融商品を活用しつつ、国庫短期証券や政府保証債券等を組入れ、安定的な利子等収益を確保したこと。

収益分配金

当作成期の収益分配金につきましては、利子・配当等収益より運用実績等を考慮し、1万口当たり40円とさせていただきます（当作成期合計分配金額240円）。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配金実績（1万口当たり）

第16期	(2011. 5. 23)	分配金	40円
第17期	(2011. 6. 23)	分配金	40円
第18期	(2011. 7. 25)	分配金	40円
第19期	(2011. 8. 23)	分配金	40円
第20期	(2011. 9. 26)	分配金	40円
第21期	(2011. 10. 24)	分配金	40円
当作成期合計分配金			240円

《今後の投資環境および運用方針》

当ファンドでは、引き続きダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（JPY）を高位に組入れることを基本とした運用を行い、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長を目指します。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（JPY）

ハイブリッド証券市場は、短期的にはギリシャの債務問題の行方や財政赤字懸念の強い他のユーロ圏諸国への悪影響等を見極めつつ、不安定な相場動向が続くと予想します。金融市場は高い確率でのギリシャ国債のデフォルトを織り込み済みですが、実際にデフォルトに至った場合、一時的にせよ金融市場が一層混乱する可能性もあり、暫くは神経質な動きが継続すると見られます。

一方、中長期的には、ハイブリッド証券が国債を上回る投資リターンを確保すると予想しています。足元こそギリシャ問題を背景に悲観的な市場心理が支配的なものの、主要先進国の金融システムにおいて重要な金融機関については、ユーロ圏周辺国の国債関連の投資損失に伴って、当ファンドの主要投資対象である期限付劣後債まで棄損する可能性は依然として低水準です。また、主要先進国の国債利回りが過去最低水準となる中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の潜在需要は根強いと考えられます。金融市場に落ち着きが見え始めれば、ハイブリッド証券を物色する動きが再び活発化し、長期的には現在の信用スプレッド水準は低位に収斂すると予想します。

今後の運用方針としては、引き続き発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、主要先進国の金融システムにおいて重要な金融機関に継続投資します。銘柄選択では、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。また、既にEU（欧州連合）及びIMF（国際通貨基金）による救済に至ったギリシャ、ポルトガル、アイルランドの銀行が発行する証券については引き続き保有しない方針です。

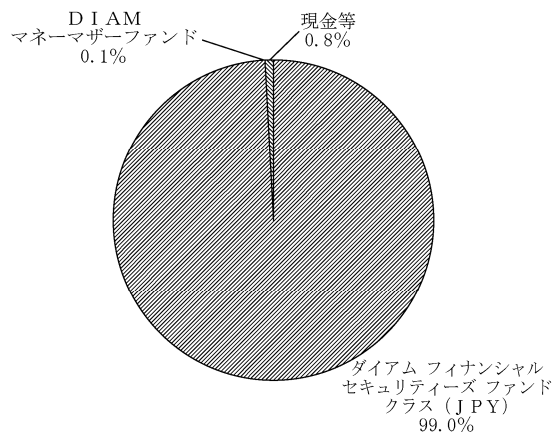
D I A M マネーマザーファンド

日本では物価の下落が続いています。日銀は引き続き緩やかな物価の上昇が見込めるまでは実質的なゼロ金利政策を維持する方針を示していることから、長期間に亘って0~0.1%程度の政策金利が維持されると考えられます。

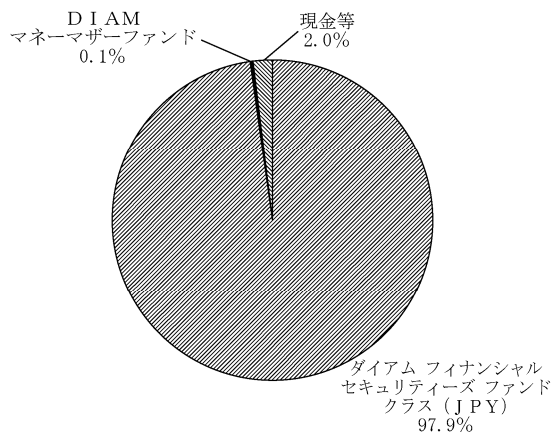
引き続き、国庫短期証券や政府保証債券等の比較的风险の少ない債券を中心に投資を行い、安定的な利子等収益の確保を目指します。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	第16期～第21期
(a) 信 託 報 酬	61円
(投 信 会 社)	(22)
(販 売 会 社)	(37)
(受 託 銀 行)	(2)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0
(新株予約権付社債(転換社債))	(0)
(c) 保 管 費 用 等	0
合 計	61

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及び保管費用等は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{経過日数}}{365}$

(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(c) 保管費用等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 保管費用等には、監査報酬等が含まれております。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

■売買及び取引の状況（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
投資信託受益証券

		第 16 期 ～ 第 21 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 邦貨 建	ダイヤモンド フィナンシャル セキュリ ティーズ ファンド クラス(JPY)	千口 3	千円 36,000	千口 18	千円 170,573

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
期中の利害関係人との取引はありません。
(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第3作成期末		第 4 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ダイヤモンド フィナンシャル セキュリ ティーズ ファンド クラス(JPY)	口 116,581	口 101,888	百万円 890	% 97.9
合 計	116,581	101,888	890	97.9

(注) 比率は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第3作成期末		第 4 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
D I A M マネーマザーファンド	千口 1,281	千口 1,281	千円 1,286	千円 1,286

(注) 親投資信託合計の受益権口数は233,876千口です。

<補足情報>

■D I A Mマナーマザーファンドの組入資産の明細

(1) 国内新株予約権付社債（転換社債）

銘	柄	2011年10月24日現在	
		額面金額	評価額
第1回	野村総合研究所 転換社債	10,000	9,830
第20回	シャープ転換社債	10,000	9,865
合計	金額 金銘柄数・<比率>	20,000 2銘柄	19,695 <8.4%>

(注) 評価額欄の<>内は、2011年10月24日現在のマザーファンド純資産総額（234,720千円）に対する評価額の比率です。

(2) 公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	2011年10月24日現在							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	80,000	79,990	34.1	—	—	—	—	34.1
地方債証券	31,780	31,838	13.6	—	—	—	—	13.6
特殊債証券	40,000	40,307	17.2	—	—	—	—	17.2
普通社債証券	54,300	54,605	23.2	—	—	—	—	23.2
合計	206,080	206,742	88.1	—	—	—	—	88.1

(注) 組入比率は、2011年10月24日現在のマザーファンド純資産総額（234,720千円）に対する評価額の比率です。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)	%	千円	千円	
第211回 国庫短期証券	—	10,000	9,999	2011/10/31
第212回 国庫短期証券	—	10,000	9,999	2011/11/07
第218回 国庫短期証券	—	30,000	29,997	2011/11/28
第226回 国庫短期証券	—	30,000	29,993	2012/01/12
小計	—	80,000	79,990	—
(地方債証券)				
第6回 かながわ県民債（7年）	1.040	10,000	10,010	2011/12/27
18年度5回 千葉県公募公債	1.220	10,500	10,500	2011/10/25
19年度 兵庫県市町共同公募債	1.300	11,280	11,328	2012/05/09
小計	—	31,780	31,838	—
(特殊債証券)				
第314回 政保道路債	1.000	14,000	14,135	2012/12/20
第814回 政保公営企業債券	1.400	13,000	13,082	2012/04/26
第817回 政保公営企業債券	1.300	10,000	10,086	2012/07/25
第8回 政保住宅金融公庫債券	1.300	3,000	3,002	2011/11/21
小計	—	40,000	40,307	—
(普通社債証券)				
第55回 日本電信電話社債	1.220	9,000	9,088	2012/10/31
第18回 N T T ドコモ社債	1.000	10,000	10,106	2013/03/27
第356回 中国電力社債	1.200	10,000	10,067	2012/09/25
第442回 東北電力社債	1.420	8,700	8,750	2012/06/25
第270回 四国電力社債	1.000	1,300	1,300	2011/11/25
第406回 九州電力社債	1.040	5,300	5,304	2011/12/15
第305回 北海道電力社債	0.380	10,000	9,988	2012/12/25
小計	—	54,300	54,605	—
合計	—	206,080	206,742	—

■投資信託財産の構成

2011年10月24日現在

項 目	第 4 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	890,098	97.0
D I A Mマネーマザーファンド	1,286	0.1
コール・ローン等、その他	26,683	2.9
投資信託財産総額	918,067	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年5月23日)、 (2011年6月23日)、 (2011年7月25日)、 (2011年8月23日)、 (2011年9月26日)、 (2011年10月24日)現在

項 目	第16期末	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末
(A) 資 産	1,165,697,453円	1,116,251,966円	1,080,395,497円	1,038,254,117円	951,953,815円	918,067,699円
コール・ローン等	35,109,509	23,508,147	15,561,393	23,814,140	29,130,153	24,062,426
投資信託受益証券、投資証券(評価額)	1,129,303,160	1,091,458,651	1,063,548,551	1,013,154,168	919,769,468	890,098,023
D I A Mマネーマザーファンド(評価額)	1,284,784	1,285,168	1,285,553	1,285,809	1,286,194	1,286,450
未 収 入 金	—	—	—	—	1,768,000	2,620,800
(B) 負 債	26,361,520	13,715,182	5,785,943	5,564,257	8,458,932	8,480,214
未 払 金	20,000,000	—	—	—	—	—
未 払 収 益 分 配 金	4,728,246	4,625,820	4,530,808	4,460,647	4,234,128	4,128,880
未 払 解 約 金	500,514	7,834,195	—	—	3,023,481	3,427,242
未 払 信 託 報 酬	1,128,490	1,250,430	1,250,399	1,099,448	1,196,791	920,608
そ の 他 未 払 費 用	4,270	4,737	4,736	4,162	4,532	3,484
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,139,335,933	1,102,536,784	1,074,609,554	1,032,689,860	943,494,883	909,587,485
元 本	1,182,061,559	1,156,455,166	1,132,702,205	1,115,161,937	1,058,532,013	1,032,220,245
次 期 繰 越 損 益 金	△ 42,725,626	△ 53,918,382	△ 58,092,651	△ 82,472,077	△ 115,037,130	△ 122,632,760
(D) 受 益 権 総 口 数	1,182,061,559口	1,156,455,166口	1,132,702,205口	1,115,161,937口	1,058,532,013口	1,032,220,245口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,639円	9,534円	9,487円	9,260円	8,913円	8,812円

<注記事項>	2011年5月23日	2011年6月23日	2011年7月25日	2011年8月23日	2011年9月26日	2011年10月24日
期首元本額	1,168,635,262円	1,182,061,559円	1,156,455,166円	1,132,702,205円	1,115,161,937円	1,058,532,013円
期中追加設定元本額	29,414,148円	3,941,917円	105,848円	6,630,237円	10,684,267円	3,976,158円
期中一部解約元本額	15,987,851円	29,548,310円	23,858,809円	24,170,505円	67,314,191円	30,287,926円

■損益の状況

項 目	自 2011年4月26日 至 2011年5月23日	自 2011年5月24日 至 2011年6月23日	自 2011年6月24日 至 2011年7月25日	自 2011年7月26日 至 2011年8月23日	自 2011年8月24日 至 2011年9月26日	自 2011年9月27日 至 2011年10月24日
	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
(A) 配 当 等 収 益	5,760,584円	5,768,876円	5,659,891円	5,556,712円	5,261,247円	5,094,825円
受 取 配 当 金	5,759,965	5,768,132	5,659,007	5,555,802	5,259,348	5,093,390
受 取 利 息	619	744	884	910	1,899	1,435
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	6,742,492	△11,996,917	△ 5,155,651	△25,202,717	△ 36,314,407	△ 10,457,535
売 買 益	6,788,687	132,845	60,708	182,657	913,158	342,515
売 買 損	△ 46,195	△12,129,762	△ 5,216,359	△25,385,374	△ 37,227,565	△ 10,800,050
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,132,760	△ 1,255,167	△ 1,255,135	△ 1,103,610	△ 1,201,323	△ 924,092
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	11,370,316	△ 7,483,208	△ 750,895	△20,749,615	△ 32,254,483	△ 6,286,802
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△46,741,889	△39,098,402	△50,151,091	△54,250,488	△ 74,667,357	△107,982,861
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,625,807	△ 2,710,952	△ 2,659,857	△ 3,011,327	△ 3,881,162	△ 4,234,217
(配 当 等 相 当 額)	(3,007,227)	(2,999,091)	(2,938,567)	(2,968,976)	(2,961,317)	(2,926,388)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,633,034)	(△ 5,710,043)	(△ 5,598,424)	(△ 5,980,303)	(△ 6,842,479)	(△ 7,160,605)
(G) 計 (D+E+F)	△37,997,380	△49,292,562	△53,561,843	△78,011,430	△110,803,002	△118,503,880
(H) 収 益 分 配 金	△ 4,728,246	△ 4,625,820	△ 4,530,808	△ 4,460,647	△ 4,234,128	△ 4,128,880
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△42,725,626	△53,918,382	△58,092,651	△82,472,077	△115,037,130	△122,632,760
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,625,807	△ 2,710,952	△ 2,659,857	△ 3,011,327	△ 3,881,162	△ 4,234,217
(配 当 等 相 当 額)	(3,007,227)	(2,999,091)	(2,938,567)	(2,968,976)	(2,961,317)	(2,926,388)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,633,034)	(△ 5,710,043)	(△ 5,598,424)	(△ 5,980,303)	(△ 6,842,479)	(△ 7,160,605)
分 配 準 備 積 立 金	12,388,170	11,967,866	11,596,103	11,341,906	10,484,273	10,227,457
繰 越 損 益 金	△52,487,989	△63,175,296	△67,028,897	△90,802,656	△121,640,241	△128,626,000

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第16期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (5,239,737円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (3,007,227円) 及び分配準備積立金 (11,876,679円) より分配対象収益は 20,123,643円 (1万口当たり170.24円) であり、うち4,728,246円 (1万口当たり40円) を分配金額としております。なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。(以下、各期間において同じ。)

第17期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (4,514,889円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (2,999,091円) 及び分配準備積立金 (12,078,797円) より分配対象収益は 19,592,777円 (1万口当たり169.42円) であり、うち4,625,820円 (1万口当たり40円) を分配金額としております。

第18期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (4,405,925円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (2,938,567円) 及び分配準備積立金 (11,720,986円) より分配対象収益は 19,065,478円 (1万口当たり168.32円) であり、うち4,530,808円 (1万口当たり40円) を分配金額としております。

第19期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (4,453,781円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (2,968,976円) 及び分配準備積立金 (11,348,772円) より分配対象収益は 18,771,529円 (1万口当たり168.33円) であり、うち4,460,647円 (1万口当たり40円) を分配金額としております。

第20期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (4,060,684円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (2,961,317円) 及び分配準備積立金 (10,657,717円) より分配対象収益は 17,679,718円 (1万口当たり167.02円) であり、うち4,234,128円 (1万口当たり40円) を分配金額としております。

第21期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (4,171,353円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (2,926,388円) 及び分配準備積立金 (10,184,984円) より分配対象収益は 17,282,725円 (1万口当たり167.43円) であり、うち4,128,880円 (1万口当たり40円) を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
1 万口当たり分配金	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「特別分配金」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が特別分配金、残りの額が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）〈豪ドルコース〉

■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		投資信託 組入比率	純資産 総額
			税分 込配	期騰落 中率		
第1作成期	(設定日) 2010年1月20日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 —
	1期(2010年2月23日)	9,714	0	△ 2.9	99.1	400
	2期(2010年3月23日)	10,020	0	3.2	99.1	412
	3期(2010年4月23日)	10,533	70	5.8	99.0	418
第2作成期	4期(2010年5月24日)	8,919	70	△14.7	98.3	356
	5期(2010年6月23日)	9,438	70	6.6	98.9	385
	6期(2010年7月23日)	9,247	70	△ 1.3	99.0	429
	7期(2010年8月23日)	9,297	70	1.3	99.0	436
	8期(2010年9月24日)	9,890	70	7.1	99.2	464
	9期(2010年10月25日)	9,811	70	△ 0.1	99.2	460
第3作成期	10期(2010年11月24日)	9,968	70	2.3	99.0	466
	11期(2010年12月24日)	9,811	70	△ 0.9	87.3	465
	12期(2011年1月24日)	9,528	70	△ 2.2	98.7	397
	13期(2011年2月23日)	9,739	70	2.9	99.0	385
	14期(2011年3月23日)	9,589	70	△ 0.8	98.5	373
	15期(2011年4月25日)	10,366	70	8.8	99.1	395
第4作成期	16期(2011年5月23日)	10,323	70	0.3	98.7	364
	17期(2011年6月23日)	10,023	70	△ 2.2	98.8	334
	18期(2011年7月25日)	10,005	70	0.5	99.0	332
	19期(2011年8月23日)	9,193	70	△ 7.4	98.5	298
	20期(2011年9月26日)	8,257	70	△ 9.4	97.3	273
	21期(2011年10月24日)	8,611	70	5.1	97.7	286

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。



■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 組 資 益 入	信 証 比	託 券 率
			騰 落	率			
第16期	(期 首) 2011年 4 月 25 日	円		%			%
		10,366		—			99.1
	4 月 末	10,497		1.3			99.1
第17期	(期 末) 2011年 5 月 23 日	10,393		0.3			98.7
	(期 首) 2011年 5 月 23 日	10,323		—			98.7
	5 月 末	10,266		△0.6			98.9
第18期	(期 末) 2011年 6 月 23 日	10,093		△2.2			98.8
	(期 首) 2011年 6 月 23 日	10,023		—			98.8
	6 月 末	10,104		0.8			98.9
第19期	(期 末) 2011年 7 月 25 日	10,075		0.5			99.0
	(期 首) 2011年 7 月 25 日	10,005		—			99.0
	7 月 末	10,151		1.5			99.2
第20期	(期 末) 2011年 8 月 23 日	9,263		△7.4			98.5
	(期 首) 2011年 8 月 23 日	9,193		—			98.5
	8 月 末	9,330		1.5			97.9
第21期	(期 末) 2011年 9 月 26 日	8,327		△9.4			97.3
	(期 首) 2011年 9 月 26 日	8,257		—			97.3
	9 月 末	8,258		0.0			97.5
第21期	(期 末) 2011年 10 月 24 日	8,681		5.1			97.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■第16期～第21期の運用経過（2011年4月26日から2011年10月24日まで）

《投資環境》

ハイブリッド証券市場

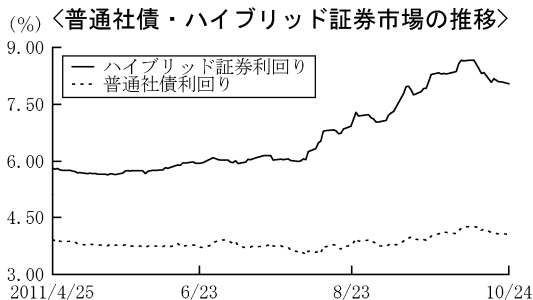
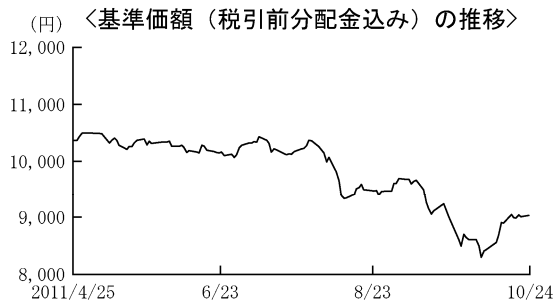
当作成期のハイブリッド証券市場は下落しました。

債務危機にあるギリシャがデフォルト（債務不履行）に陥るとの見方が強まる中、多額の財政赤字を抱える他のユーロ圏諸国にも悪影響が広がるとの懸念が高まりました。加えて、世界的に企業の景況感や一般消費者心理の弱含みが鮮明となる中で、今後世界が景気後退に陥るリスクも意識されました。このような環境下、金融市場ではリスク性資産を回避する動きが強まったことから、ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドは拡大傾向となり、ハイブリッド証券市場は下落しました。一方で、基準となる国債利回りについては、「質への逃避」による買い需要に支えられてドイツや米国の国債利回りが低下したため、ハイブリッド証券市場の上昇要因となりました。

豪ドル/円相場は、円高豪ドル安となりました。世界経済の先行き不透明感の強まりを受けて、資源国通貨である豪ドルにも調整圧力が加かったことから、円高豪ドル安が進行しました。

国内短期金融市場

日銀は政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を0～0.1%程度で維持しています。このため国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券の利回りは0.1%程度での安定した推移となりました。



※普通社債利回りはパークレイズ・キャピタル・グローバル総合：社債インデックスの利回り（*）、ハイブリッド証券利回りはパークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスの利回り（*）です。

（*）利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還（コール）もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

※パークレイズ・キャピタル・グローバル総合：社債インデックスは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格社債市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

※パークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格優先証券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

<第16期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 4. 25	2011. 4. 28	2011. 5. 16	2011. 5. 23
10,366円	10,497円	10,208円	10,393円 (分配金込み)

<第17期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 5. 23	2011. 5. 23	2011. 6. 14	2011. 6. 23
10,323円	10,323円	10,073円	10,093円 (分配金込み)

<第18期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 6. 23	2011. 7. 8	2011. 6. 28	2011. 7. 25
10,023円	10,287円	9,927円	10,075円 (分配金込み)

<第19期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 7. 25	2011. 7. 28	2011. 8. 11	2011. 8. 23
10,005円	10,159円	9,122円	9,263円 (分配金込み)

<第20期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 8. 23	2011. 9. 2	2011. 9. 26	2011. 9. 26
9,193円	9,417円	8,327円	8,327円 (分配金込み)

<第21期>

期 首	期中高値	期中安値	期 末
2011. 9. 26	2011. 10. 17	2011. 10. 5	2011. 10. 24
8,257円	8,699円	7,950円	8,681円 (分配金込み)

《運用経過》

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD) の組入比率は、原則として高位を維持し、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は8,611円となりました。第16期から第21期までの1万口当たりの収益分配金合計額420円を加算すると9,031円となり、前作成期末に比べ12.88%下落しました。

基準価額の騰落要因

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD) の基準価額が下落したため。

ダイアムフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス (AUD) 基準価額の推移

当作成期末の基準価額は前作成期末に比べ12.37%下落しました。

基準価額の騰落要因

[下落要因] ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドが拡大したことや、豪ドルが対円で下落したこと。

[上昇要因] 主に投資を行った米国及び欧州市場の国債利回りが低下したこと。

DIAMマネーマザーファンド

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は10,036円となり、前作成期末に比べ0.19%上昇しました。

基準価額の騰落要因

[上昇要因] コール・ローン等の短期金融商品を活用しつつ、国庫短期証券や政府保証債券等を組入れ、安定的な利子等収益を確保したこと。

収益分配金

当作成期の収益分配金につきましては、利子・配当等収益より運用実績等を考慮し、1万口当たり70円とさせていただきます（当作成期合計分配金額420円）。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配金実績（1万口当たり）

第16期	(2011. 5. 23)	分配金	70円
第17期	(2011. 6. 23)	分配金	70円
第18期	(2011. 7. 25)	分配金	70円
第19期	(2011. 8. 23)	分配金	70円
第20期	(2011. 9. 26)	分配金	70円
第21期	(2011. 10. 24)	分配金	70円
当作成期合計分配金			420円

《今後の投資環境および運用方針》

当ファンドでは、引き続きダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（AUD）を高位に組入れることを基本とした運用を行い、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長を目指します。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（AUD）

ハイブリッド証券市場は、短期的にはギリシャの債務問題の行方や財政赤字懸念の強い他のユーロ圏諸国への悪影響等を見極めつつ、不安定な相場動向が続くと予想します。金融市場は高い確率でのギリシャ国債のデフォルトを織り込み済みですが、実際にデフォルトに至った場合、一時的にせよ金融市場が一層混乱する可能性もあり、暫くは神経質な動きが継続すると見られます。

一方、中長期的には、ハイブリッド証券が国債を上回る投資リターンを確保すると予想しています。足元こそギリシャ問題を背景に悲観的な市場心理が支配的なものの、主要先進国の金融システムにおいて重要な金融機関については、ユーロ圏周辺国の国債関連の投資損失に伴って、当ファンドの主要投資対象である期限付劣後債まで棄損する可能性は依然として低水準です。また、主要先進国の国債利回りが過去最低水準となる中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の潜在需要は根強いと考えられます。金融市場に落ち着きが見え始めれば、ハイブリッド証券を物色する動きが再び活発化し、長期的には現在の信用スプレッド水準は低位に収縮すると予想します。

今後の運用方針としては、引き続き発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、主要先進国の金融システムにおいて重要な金融機関に継続投資します。銘柄選択では、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。また、既にEU（欧州連合）及びIMF（国際通貨基金）による救済に至ったギリシャ、ポルトガル、アイルランドの銀行が発行する証券については引き続き保有しない方針です。

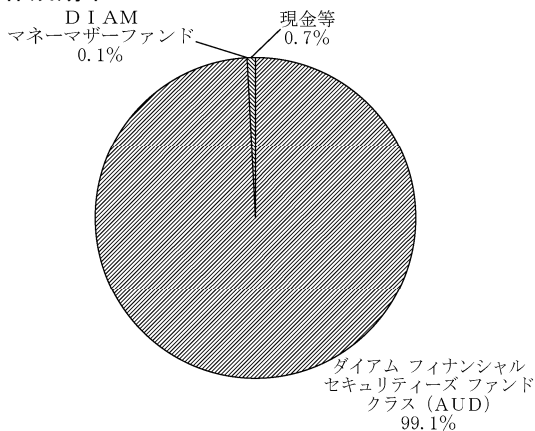
D I A M マネーマザーファンド

日本では物価の下落が続いています。日銀は引き続き緩やかな物価の上昇が見込めるまでは実質的なゼロ金利政策を維持する方針を示していることから、長期間に亘って0~0.1%程度の政策金利が維持されると考えられます。

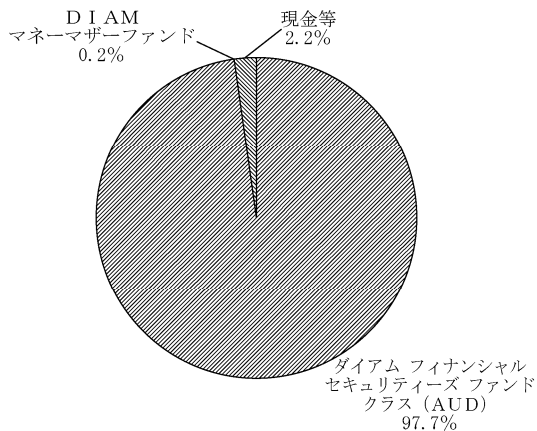
引き続き、国庫短期証券や政府保証債券等の比較的风险の少ない債券を中心に投資を行い、安定的な利子等収益の確保を目指します。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



■ 1万円 (元本10,000円) 当たりの費用の明細

項 目	第16期～第21期
(a) 信 託 報 酬	63円
(投 信 会 社)	(23)
(販 売 会 社)	(38)
(受 託 銀 行)	(2)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0
(新株予約権付社債(転換社債))	(0)
(c) 保 管 費 用 等	0
合 計	63

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及び保管費用等は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{経過日数}}{365}$
- (b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
- (c) 保管費用等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 保管費用等には、監査報酬等が含まれております。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

■売買及び取引の状況（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
投資信託受益証券

		第 16 期 ～ 第 21 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 邦貨 建	ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)	千口 2	千円 19,000	千口 7	千円 72,792

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 3 作 成 期 末		第 4 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)	口 38,381	口 32,957	百万円 279	% 97.7
合 計	38,381	32,957	279	97.7

(注) 比率は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 3 作 成 期 末		第 4 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
D I A M マネーマザー ファンド	千口 444	千口 444	千円 446	千円 446

(注) 親投資信託合計の受益権口数は233,876千口です。

<補足情報>

■D I A M マネーマザーファンドの組入資産の明細
8頁をご参照ください。

■投資信託財産の構成

2011年10月24日現在

項 目	第 4 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 279,415	% 95.1
D I A M マネーマザーファンド	446	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	13,828	4.7
投 資 信 託 財 産 総 額	293,689	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年5月23日)、 (2011年6月23日)、 (2011年7月25日)、 (2011年8月23日)、 (2011年9月26日)、 (2011年10月24日)現在

項 目	第 16 期 末	第 17 期 末	第 18 期 末	第 19 期 末	第 20 期 末	第 21 期 末
(A) 資 産	366,982,727円	338,986,114円	335,541,946円	301,578,879円	278,709,098円	293,689,589円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,234,434	7,613,503	5,758,460	6,550,451	9,684,417	13,827,229
投資信託受益証券(評価額)	359,302,315	330,926,500	329,337,241	294,582,094	266,141,614	279,415,804
D I A M マネーマザーファンド(評価額)	445,978	446,111	446,245	446,334	446,467	446,556
未 収 入 金	—	—	—	—	2,436,600	—
(B) 負 債	2,860,208	4,064,882	2,715,901	2,607,509	5,298,575	7,602,758
未 払 金	—	—	—	—	—	5,000,000
未 払 収 益 分 配 金	2,469,214	2,338,980	2,328,729	2,276,456	2,317,967	2,325,701
未 払 解 約 金	—	1,334,969	—	—	2,611,200	—
未 払 信 託 報 酬	389,532	389,468	385,720	329,816	368,030	276,020
そ の 他 未 払 費 用	1,462	1,465	1,452	1,237	1,378	1,037
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	364,122,519	334,921,232	332,826,045	298,971,370	273,410,523	286,086,831
元 本	352,744,889	334,140,050	332,675,591	325,208,034	331,138,273	332,243,058
次 期 繰 越 損 益 金	11,377,630	781,182	150,454	△ 26,236,664	△ 57,727,750	△ 46,156,227
(D) 受 益 権 総 口 数	352,744,889口	334,140,050口	332,675,591口	325,208,034口	331,138,273口	332,243,058口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,323円	10,023円	10,005円	9,193円	8,257円	8,611円

<注記事項>	2011年5月23日	2011年6月23日	2011年7月25日	2011年8月23日	2011年9月26日	2011年10月24日
期首元本額	381,791,366円	352,744,889円	334,140,050円	332,675,591円	325,208,034円	331,138,273円
期中追加設定元本額	1,438,942円	1,058,574円	3,700,327円	2,418,207円	9,398,413円	6,184,464円
期中一部解約元本額	30,485,419円	19,663,413円	5,164,786円	9,885,764円	3,468,174円	5,079,679円

■損益の状況

項 目	自 2011年4月26日 至 2011年5月23日	自 2011年5月24日 至 2011年6月23日	自 2011年6月24日 至 2011年7月25日	自 2011年7月26日 至 2011年8月23日	自 2011年8月24日 至 2011年9月26日	自 2011年9月27日 至 2011年10月24日
	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
(A) 配 当 等 収 益	2,846,873円	2,707,278円	2,670,771円	2,587,670円	2,625,155円	2,591,019円
受 取 配 当 金	2,846,523	2,706,969	2,670,482	2,587,407	2,624,623	2,590,587
受 取 利 息	350	309	289	263	532	432
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,513,630	△ 9,953,231	△ 609,611	△26,202,637	△31,028,358	11,550,296
売 買 益	350,899	361,608	28,878	374,399	162,405	11,601,495
売 買 損	△ 1,864,529	△10,314,839	△ 638,489	△26,577,036	△31,190,763	△ 51,199
(C) 信 託 報 酬 等	△ 390,994	△ 390,933	△ 387,172	△ 331,053	△ 369,408	△ 277,057
(D) 当 期 繰 上 損 益 金 (A + B + C)	942,249	△ 7,636,886	1,673,988	△23,946,020	△28,772,611	13,864,258
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	19,805,398	17,260,372	7,172,393	6,324,635	△19,691,531	△50,004,287
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 6,900,803	△ 6,503,324	△ 6,367,198	△ 6,338,823	△ 6,945,641	△ 7,690,497
(配 当 等 相 当 額)	(4,938,376)	(4,742,376)	(4,927,763)	(4,949,328)	(5,554,233)	(5,940,346)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△11,839,179)	(△11,245,700)	(△11,294,961)	(△11,288,151)	(△12,499,874)	(△13,630,843)
(G) 計 (D + E + F)	13,846,844	3,120,162	2,479,183	△23,960,208	△55,409,783	△43,830,526
(H) 収 益 分 配 金	△ 2,469,214	△ 2,338,980	△ 2,328,729	△ 2,276,456	△ 2,317,967	△ 2,325,701
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	11,377,630	781,182	150,454	△26,236,664	△57,727,750	△46,156,227
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 6,900,803	△ 6,503,324	△ 6,367,198	△ 6,338,823	△ 6,945,641	△ 7,690,497
(配 当 等 相 当 額)	(4,938,376)	(4,742,376)	(4,927,763)	(4,949,328)	(5,554,233)	(5,940,346)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△11,839,179)	(△11,245,700)	(△11,294,961)	(△11,288,151)	(△12,499,874)	(△13,630,843)
分 配 準 備 積 立 金	19,792,438	18,667,820	18,335,786	17,773,178	17,526,940	17,473,255
繰 越 損 益 金	△ 1,514,005	△11,383,314	△11,818,134	△37,671,019	△68,309,049	△55,938,985

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第16期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,456,254円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(4,938,376円)及び分配準備積立金(19,805,398円)より分配対象収益は27,200,028円(1万口当たり771.10円)であり、うち2,469,214円(1万口当たり70円)を分配金額としております。なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。(以下、各期間において同じ。)

第17期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,316,750円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(4,742,376円)及び分配準備積立金(18,690,050円)より分配対象収益は25,749,176円(1万口当たり770.61円)であり、うち2,338,980円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

第18期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,284,006円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(4,927,763円)及び分配準備積立金(18,380,509円)より分配対象収益は25,592,278円(1万口当たり768.71円)であり、うち2,328,729円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

第19期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,256,848円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(4,949,328円)及び分配準備積立金(17,792,786円)より分配対象収益は24,998,962円(1万口当たり768.71円)であり、うち2,276,456円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

第20期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,256,010円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(5,554,233円)及び分配準備積立金(17,588,897円)より分配対象収益は25,399,140円(1万口当たり767.03円)であり、うち2,317,967円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

第21期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,540,476円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(5,940,346円)及び分配準備積立金(17,258,480円)より分配対象収益は25,739,302円(1万口当たり774.71円)であり、うち2,325,701円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
1 万口当たり分配金	70円	70円	70円	70円	70円	70円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「特別分配金」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が特別分配金、残りの額が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）〈ブラジルリアルコース〉

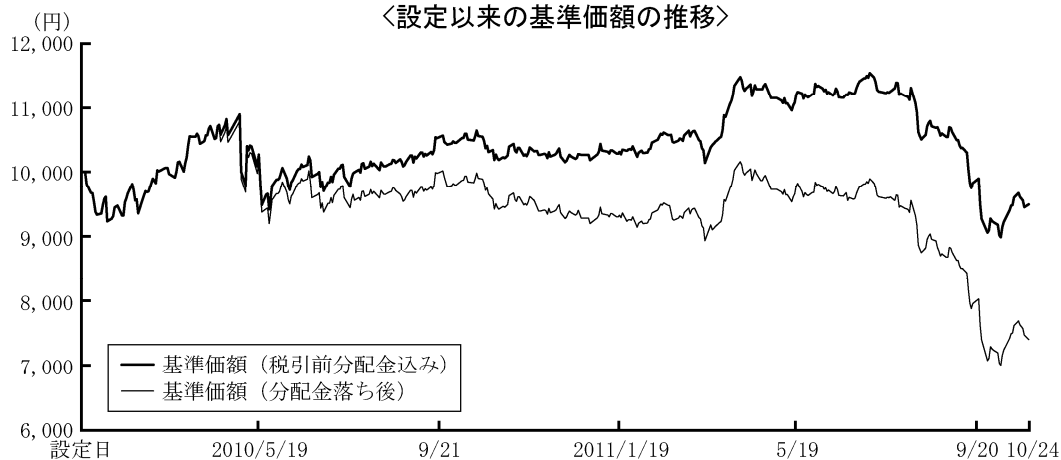
■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
			税分	込配	み金 期騰落 中率		
第1作成期	(設定日) 2010年1月20日	円 10,000			円 — %	% —	百万円 —
	1期(2010年2月23日)	9,708		0	△ 2.9	99.0	6,559
	2期(2010年3月23日)	9,912		0	2.1	99.0	6,813
	3期(2010年4月23日)	10,470		110	6.7	99.1	7,392
第2作成期	4期(2010年5月24日)	9,422		110	△ 9.0	98.8	6,704
	5期(2010年6月23日)	9,851		110	5.7	98.9	7,153
	6期(2010年7月23日)	9,554		110	△ 1.9	98.9	7,008
	7期(2010年8月23日)	9,649		110	2.1	99.2	7,077
	8期(2010年9月24日)	9,766		110	2.4	99.0	7,271
	9期(2010年10月25日)	9,572		110	△ 0.9	99.0	7,064
第3作成期	10期(2010年11月24日)	9,448		110	△ 0.1	99.3	6,950
	11期(2010年12月24日)	9,278		110	△ 0.6	95.2	6,731
	12期(2011年1月24日)	9,229		110	0.7	99.0	6,634
	13期(2011年2月23日)	9,368		110	2.7	99.0	6,602
	14期(2011年3月23日)	9,098		110	△ 1.7	99.1	6,127
	15期(2011年4月25日)	9,864		110	9.6	99.2	6,341
第4作成期	16期(2011年5月23日)	9,687		110	△ 0.7	99.2	6,004
	17期(2011年6月23日)	9,550		110	△ 0.3	99.2	5,670
	18期(2011年7月25日)	9,550		110	1.2	99.2	5,532
	19期(2011年8月23日)	8,827		110	△ 6.4	97.8	5,029
	20期(2011年9月26日)	7,075		110	△18.6	97.5	3,899
	21期(2011年10月24日)	7,401		110	6.2	97.8	3,919

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。



■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 組 資 益 入	信 証 比	託 券 率
			騰 落	率			
第16期	(期 首) 2011年 4 月 25 日	円	9,864	%			%
	4 月 末		9,946	0.8			99.2
	(期 末) 2011年 5 月 23 日		9,797	△ 0.7			98.9
第17期	(期 首) 2011年 5 月 23 日		9,687	—			99.2
	5 月 末		9,675	△ 0.1			99.3
	(期 末) 2011年 6 月 23 日		9,660	△ 0.3			99.2
第18期	(期 首) 2011年 6 月 23 日		9,550	—			99.2
	6 月 末		9,718	1.8			99.0
	(期 末) 2011年 7 月 25 日		9,660	1.2			99.2
第19期	(期 首) 2011年 7 月 25 日		9,550	—			99.2
	7 月 末		9,467	△ 0.9			99.1
	(期 末) 2011年 8 月 23 日		8,937	△ 6.4			97.8
第20期	(期 首) 2011年 8 月 23 日		8,827	—			97.8
	8 月 末		8,827	0.0			97.8
	(期 末) 2011年 9 月 26 日		7,185	△18.6			97.5
第21期	(期 首) 2011年 9 月 26 日		7,075	—			97.5
	9 月 末		7,238	2.3			97.5
	(期 末) 2011年 10 月 24 日		7,511	6.2			97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■第16期～第21期の運用経過（2011年4月26日から2011年10月24日まで）

《投資環境》

ハイブリッド証券市場

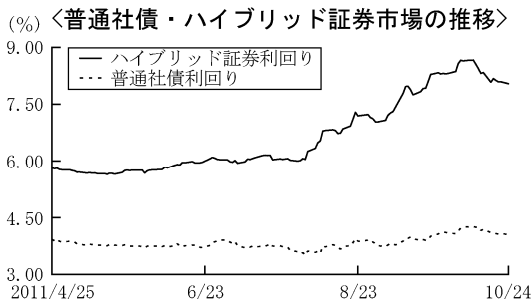
当作成期のハイブリッド証券市場は下落しました。

債務危機にあるギリシャがデフォルト（債務不履行）に陥るとの見方が強まる中、多額の財政赤字を抱える他のユーロ圏諸国にも悪影響が広がるとの懸念が高まりました。加えて、世界的に企業の景況感や一般消費者心理の弱含みが鮮明となる中で、今後世界が景気後退に陥るリスクも意識されました。このような環境下、金融市場ではリスク性資産を回避する動きが強まったことから、ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドは拡大傾向となり、ハイブリッド証券市場は下落しました。一方で、基準となる国債利回りについては、「質への逃避」による買い需要に支えられてドイツや米国の国債利回りが低下したため、ハイブリッド証券市場の上昇要因となりました。

ブラジルレアル/円相場は、円高レアル安となりました。消費者物価の上昇が依然として高水準でありながらもブラジル中央銀行が2011年8月に政策金利の0.5%引き下げに踏み切ったことなどから、円高レアル安となりました。

国内短期金融市場

日銀は政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を0～0.1%程度で維持しています。このため国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券の利回りは0.1%程度での安定した推移となりました。



※普通社債利回りはパークレイズ・キャピタル・グローバル総合：社債インデックスの利回り^(*)、ハイブリッド証券利回りはパークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスの利回り^(*)です。

^(*)利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還（コール）もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

※パークレイズ・キャピタル・グローバル総合：社債インデックスは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格社債市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

※パークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格優先証券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

<第16期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 4. 25	2011. 4. 28	2011. 5. 16	2011. 5. 23
9,864円	9,946円	9,531円	9,797円 (分配金込み)

<第17期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 5. 23	2011. 6. 1	2011. 5. 24	2011. 6. 23
9,687円	9,838円	9,605円	9,660円 (分配金込み)

<第18期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 6. 23	2011. 7. 8	2011. 6. 23	2011. 7. 25
9,550円	9,895円	9,550円	9,660円 (分配金込み)

<第19期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 7. 25	2011. 7. 26	2011. 8. 12	2011. 8. 23
9,550円	9,636円	8,747円	8,937円 (分配金込み)

<第20期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 8. 23	2011. 8. 23 2011. 8. 31	2011. 9. 26	2011. 9. 26
8,827円	8,827円	7,185円	7,185円 (分配金込み)

<第21期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 9. 26	2011. 10. 17	2011. 10. 5	2011. 10. 24
7,075円	7,688円	7,005円	7,511円 (分配金込み)

《運用経過》

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (BRL) の組入比率は、原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は7,401円となりました。第16期から第21期までの1万口当たりの収益分配金合計額660円を加算すると8,061円となり、前作成期末に比べ18.28%下落しました。

基準価額の騰落要因

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (BRL) の基準価額が下落したため。

ダイアムフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(BRL) 基準価額の推移

当作成期末の基準価額は前作成期末に比べ17.97%下落しました。

基準価額の騰落要因

[下落要因] ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドが拡大したことや、ブラジルリアルが対円で下落したこと。

[上昇要因] 主に投資を行った米国及び欧州市場の国債利回りが低下したこと。

DIAMマネーマザーファンド

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は10,036円となり、前作成期末に比べ0.19%上昇しました。

基準価額の騰落要因

[上昇要因] コール・ローン等の短期金融商品を活用しつつ、国庫短期証券や政府保証債券等を組み入れ、安定的な利子等収益を確保したこと。

収益分配金

当作成期の収益分配金につきましては、利子・配当等収益より運用実績等を考慮し、1万口当たり110円とさせていただきます（当作成期合計分配金額660円）。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配金実績（1万口当たり）

第16期	(2011. 5. 23)	分配金	110円
第17期	(2011. 6. 23)	分配金	110円
第18期	(2011. 7. 25)	分配金	110円
第19期	(2011. 8. 23)	分配金	110円
第20期	(2011. 9. 26)	分配金	110円
第21期	(2011. 10. 24)	分配金	110円
当作成期合計分配金			660円

《今後の投資環境および運用方針》

当ファンドでは、引き続きダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（BRL）を高位に組み入れることを基本とした運用を行い、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長を目指します。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（BRL）

ハイブリッド証券市場は、短期的にはギリシャの債務問題の行方や財政赤字懸念の強い他のユーロ圏諸国への悪影響等を見極めつつ、不安定な相場動向が続くと予想します。金融市場は高い確率でのギリシャ国債のデフォルトを織り込み済みですが、実際にデフォルトに至った場合、一時的にせよ金融市場が一層混乱する可能性もあり、暫くは神経質な動きが継続すると見られます。

一方、中長期的には、ハイブリッド証券が国債を上回る投資リターンを確保すると予想しています。足元こそギリシャ問題を背景に悲観的な市場心理が支配的なものの、主要先進国の金融システムにおいて重要な金融機関については、ユーロ圏周辺国の国債関連の投資損失に伴って、当ファンドの主要投資対象である期限付劣後債まで棄損する可能性は依然として低水準です。また、主要先進国の国債利回りが過去最低水準となる中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の潜在需要は根強いと考えられます。金融市場に落ち着きが見え始めれば、ハイブリッド証券を物色する動きが再び活発化し、長期的には現在の信用スプレッド水準は低位に収斂すると予想します。

今後の運用方針としては、引き続き発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、主要先進国の金融システムにおいて重要な金融機関に継続投資します。銘柄選択では、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延滞リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。また、既にEU（欧州連合）及びIMF（国際通貨基金）による救済に至ったギリシャ、ポルトガル、アイルランドの銀行が発行する証券については引き続き保有しない方針です。

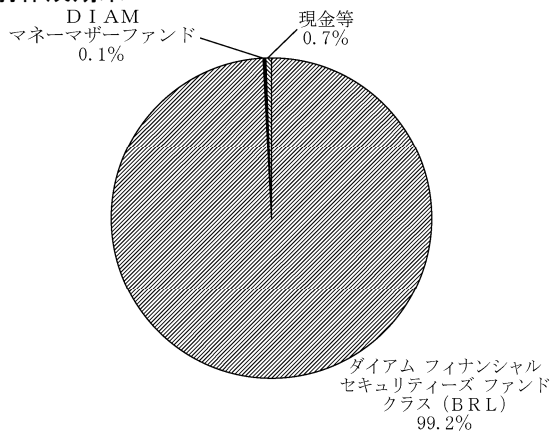
D I A M マネーマザーファンド

日本では物価の下落が続いています。日銀は引き続き緩やかな物価の上昇が見込めるまでは実質的なゼロ金利政策を維持する方針を示していることから、長期間に亘って0～0.1%程度の政策金利が維持されると考えられます。

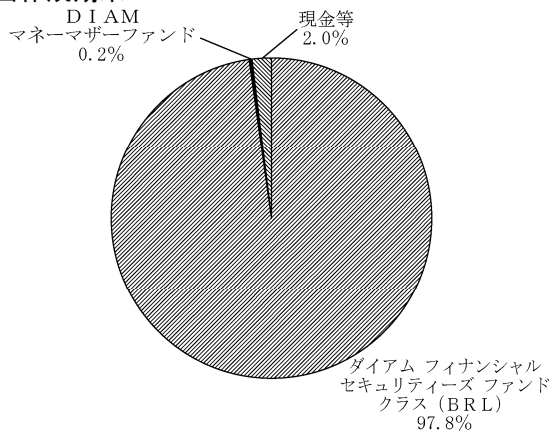
引き続き、国庫短期証券や政府保証債券等の比較的风险の少ない債券を中心に投資を行い、安定的な利子等収益の確保を目指します。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



■ 1万円 (元本10,000円) 当たりの費用の明細

項 目	第16期～第21期
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	59円 (22) (35) (2)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債))	0 (0)
(c) 保 管 費 用 等	0
合 計	59

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む。) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及び保管費用等は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{経過日数}}{365}$
- (b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
- (c) 保管費用等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 保管費用等には、監査報酬等が含まれております。
(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

■売買及び取引の状況（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
投資信託受益証券

		第 16 期 ～ 第 21 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 邦貨建	ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（BRL）	10	92,000	130	1,131,189

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 3 作 成 期 末	第 4 作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンドクラス(BRL)	654,691 口	535,138 口	3,833 百万円	97.8 %
合 計	654,691	535,138	3,833	97.8

(注) 比率は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 3 作 成 期 末	第 4 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
D I A Mマネーマザー ファンド	7,138	7,138	7,164

(注) 親投資信託合計の受益権口数は233,876千口です。

<補足情報>

■D I A Mマネーマザーファンドの組入資産の明細

8頁をご参照ください。

■投資信託財産の構成

2011年10月24日現在

項 目	第 4 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	3,833,197	95.4
D I A M マネーマザーファンド	7,164	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	177,306	4.4
投 資 信 託 財 産 総 額	4,017,667	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年5月23日)、 (2011年6月23日)、 (2011年7月25日)、 (2011年8月23日)、 (2011年9月26日)、 (2011年10月24日)現在

項 目	第 16 期 末	第 17 期 末	第 18 期 末	第 19 期 末	第 20 期 末	第 21 期 末
(A) 資 産	6,111,543,189円	5,784,246,691円	5,618,805,968円	5,109,310,931円	3,998,971,780円	4,017,667,692円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	140,615,288	140,358,063	110,011,194	184,398,574	178,195,231	168,710,056
投資信託受益証券(評価額)	5,954,340,579	5,627,437,164	5,486,766,369	4,917,751,324	3,801,292,374	3,833,197,433
D I A M マネーマザーファンド(評価額)	7,155,322	7,157,464	7,159,605	7,161,033	7,163,175	7,164,603
未 収 入 金	9,432,000	9,294,000	14,868,800	—	12,321,000	8,595,600
(B) 負 債	106,614,508	113,936,106	86,363,081	79,813,112	99,290,250	97,676,703
未 払 収 益 分 配 金	68,190,049	65,315,687	63,723,328	62,676,943	60,635,284	58,262,791
未 払 解 約 金	32,188,910	42,055,600	16,091,318	11,652,906	32,917,888	35,412,444
未 払 信 託 報 酬	6,211,954	6,539,981	6,523,663	5,462,520	5,715,375	3,986,335
そ の 他 未 払 費 用	23,595	24,838	24,772	20,743	21,703	15,133
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	6,004,928,681	5,670,310,585	5,532,442,887	5,029,497,819	3,899,681,530	3,919,990,989
元 本	6,199,095,404	5,937,789,806	5,793,029,863	5,697,903,911	5,512,298,617	5,296,617,368
次 期 繰 越 損 益 金	△ 194,166,723	△ 267,479,221	△ 260,586,976	△ 668,406,092	△ 1,612,617,087	△ 1,376,626,379
(D) 受 益 権 総 口 数	6,199,095,404口	5,937,789,806口	5,793,029,863口	5,697,903,911口	5,512,298,617口	5,296,617,368口
1万円当たり基準価額(C/D)	9.687円	9.550円	9.550円	8.827円	7.075円	7.401円

<注記事項>	2011年5月23日	2011年6月23日	2011年7月25日	2011年8月23日	2011年9月26日	2011年10月24日
期首元本額	6,428,318,875円	6,199,095,404円	5,937,789,806円	5,793,029,863円	5,697,903,911円	5,512,298,617円
期中追加設定元本額	21,962,695円	29,133,830円	38,143,789円	161,284,300円	40,448,973円	14,922,702円
期中一部解約元本額	251,186,166円	290,439,428円	182,903,732円	256,410,252円	226,054,267円	230,603,951円

■損益の状況

〔自 2011年4月26日 至 2011年5月23日〕〔自 2011年5月24日 至 2011年6月23日〕〔自 2011年6月24日 至 2011年7月25日〕〔自 2011年7月26日 至 2011年8月23日〕〔自 2011年8月24日 至 2011年9月26日〕〔自 2011年9月27日 至 2011年10月24日〕

項 目	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
(A) 配 当 等 收 益	76,053,588円	72,889,189円	70,963,515円	68,529,374円	67,261,434円	64,291,665円
受 取 配 当 金	76,048,545	72,884,121	70,958,200	68,522,858	67,252,569	64,284,518
受 取 利 息	5,043	5,068	5,315	6,516	8,865	7,147
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△111,556,943	△ 82,508,037	△ 595,080	△404,968,219	△ 966,363,580	170,805,797
売 買 益	5,296,209	2,326,485	2,709,191	10,199,344	11,933,332	174,950,210
売 買 損	△116,853,152	△ 84,834,522	△ 3,304,271	△415,167,563	△ 978,296,912	△ 4,144,413
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,235,549	△ 6,564,819	△ 6,548,435	△ 5,483,263	△ 5,737,078	△ 4,001,468
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	△ 41,738,904	△ 16,183,667	63,820,000	△341,922,108	△ 904,839,224	231,095,994
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 66,113,710	△167,812,810	△241,665,717	△230,927,684	△ 610,466,398	△1,510,145,975
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 18,124,060	△ 18,167,057	△ 19,017,931	△ 32,879,357	△ 36,676,181	△ 39,313,607
(配 当 等 相 当 額)	(46,013,814)	(45,520,921)	(46,237,573)	(54,367,172)	(54,408,697)	(52,938,065)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 64,137,874)	(△ 63,687,978)	(△ 65,255,504)	(△ 87,246,529)	(△ 91,084,878)	(△ 92,251,672)
(G) 計 (D+E+F)	△125,976,674	△202,163,534	△196,863,648	△605,729,149	△1,551,981,803	△1,318,363,588
(H) 収 益 分 配 金	△ 68,190,049	△ 65,315,687	△ 63,723,328	△ 62,676,943	△ 60,635,284	△ 58,262,791
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△194,166,723	△267,479,221	△260,586,976	△668,406,092	△1,612,617,087	△1,376,626,379
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 18,124,060	△ 18,167,057	△ 19,017,931	△ 32,879,357	△ 36,676,181	△ 39,313,607
(配 当 等 相 当 額)	(46,013,814)	(45,520,921)	(46,237,573)	(54,367,172)	(54,408,697)	(52,938,065)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 64,137,874)	(△ 63,687,978)	(△ 65,255,504)	(△ 87,246,529)	(△ 91,084,878)	(△ 92,251,672)
分 配 準 備 積 立 金	289,026,977	276,530,421	268,747,427	257,281,799	248,029,869	242,612,625
繰 越 損 益 金	△465,069,640	△525,842,585	△510,316,472	△892,808,534	△1,823,970,775	△1,579,925,397

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第16期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(69,824,219円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(46,013,814円)及び分配準備積立金(287,392,807円)より分配対象収益は403,230,840円(1万口当たり650.73円)であり、うち68,190,049円(1万口当たり110円)を分配金額としております。なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。(以下、各期間において同じ。)

第17期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,330,919円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(45,520,921円)及び分配準備積立金(275,515,189円)より分配対象収益は387,367,029円(1万口当たり652.38円)であり、うち65,315,687円(1万口当たり110円)を分配金額としております。

第18期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(64,421,576円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(46,237,573円)及び分配準備積立金(268,049,179円)より分配対象収益は378,708,328円(1万口当たり653.73円)であり、うち63,723,328円(1万口当たり110円)を分配金額としております。

第19期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(63,049,910円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(54,367,172円)及び分配準備積立金(256,908,832円)より分配対象収益は374,325,914円(1万口当たり656.95円)であり、うち62,676,943円(1万口当たり110円)を分配金額としております。

第20期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(61,528,588円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(54,408,697円)及び分配準備積立金(247,136,565円)より分配対象収益は363,073,850円(1万口当たり658.66円)であり、うち60,635,284円(1万口当たり110円)を分配金額としております。

第21期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(63,200,701円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(52,938,065円)及び分配準備積立金(237,674,715円)より分配対象収益は353,813,481円(1万口当たり668.00円)であり、うち58,262,791円(1万口当たり110円)を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
1 万口当たり分配金	110円	110円	110円	110円	110円	110円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「特別分配金」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が特別分配金、残りの額が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）〈中国元コース〉

■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 受組入 証比率	純資産 総額
		(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落 率		
第1作成期	(設定日) 2010年1月20日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 —
	1期(2010年2月23日)	9,757	0	△2.4	98.9	2,884
	2期(2010年3月23日)	9,866	0	1.1	99.3	2,944
	3期(2010年4月23日)	10,265	55	4.6	99.1	3,285
第2作成期	4期(2010年5月24日)	9,593	55	△6.0	99.3	3,083
	5期(2010年6月23日)	9,592	55	0.6	99.0	3,084
	6期(2010年7月23日)	9,269	55	△2.8	99.0	2,896
	7期(2010年8月23日)	9,332	55	1.3	99.1	2,881
	8期(2010年9月24日)	9,391	55	1.2	99.0	2,861
	9期(2010年10月25日)	9,065	55	△2.9	99.3	2,757
第3作成期	10期(2010年11月24日)	9,061	55	0.6	99.2	2,746
	11期(2010年12月24日)	8,709	55	△3.3	89.2	2,599
	12期(2011年1月24日)	8,590	55	△0.7	99.2	2,524
	13期(2011年2月23日)	8,708	55	2.0	99.1	2,437
	14期(2011年3月23日)	8,521	55	△1.5	99.1	2,319
	15期(2011年4月25日)	8,798	55	3.9	99.3	2,289
第4作成期	16期(2011年5月23日)	8,778	55	0.4	99.1	2,220
	17期(2011年6月23日)	8,517	55	△2.3	99.3	2,060
	18期(2011年7月25日)	8,283	55	△2.1	99.3	1,877
	19期(2011年8月23日)	7,912	55	△3.8	98.6	1,697
	20期(2011年9月26日)	7,348	55	△6.4	97.1	1,533
	21期(2011年10月24日)	7,306	55	0.2	97.9	1,411

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。



■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 組 資 益 入	信 証 比	託 券 率
			騰 落	率			
第16期	(期 首) 2011年 4 月 25 日	円		%			%
		8,798		—			99.3
	4 月 末	8,866		0.8			99.0
第17期	(期 末) 2011年 5 月 23 日	8,833		0.4			99.1
	(期 首) 2011年 5 月 23 日	8,778		—			99.1
	5 月 末	8,660		△1.3			99.4
第18期	(期 末) 2011年 6 月 23 日	8,572		△2.3			99.3
	(期 首) 2011年 6 月 23 日	8,517		—			99.3
	6 月 末	8,549		0.4			99.0
第19期	(期 末) 2011年 7 月 25 日	8,338		△2.1			99.3
	(期 首) 2011年 7 月 25 日	8,283		—			99.3
	7 月 末	8,265		△0.2			99.0
第20期	(期 末) 2011年 8 月 23 日	7,967		△3.8			98.6
	(期 首) 2011年 8 月 23 日	7,912		—			98.6
	8 月 末	7,829		△1.0			97.9
第21期	(期 末) 2011年 9 月 26 日	7,403		△6.4			97.1
	(期 首) 2011年 9 月 26 日	7,348		—			97.1
	9 月 末	7,342		△0.1			97.2
第21期	(期 末) 2011年 10 月 24 日	7,361		0.2			97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■第16期～第21期の運用経過（2011年4月26日から2011年10月24日まで）

《投資環境》

ハイブリッド証券市場

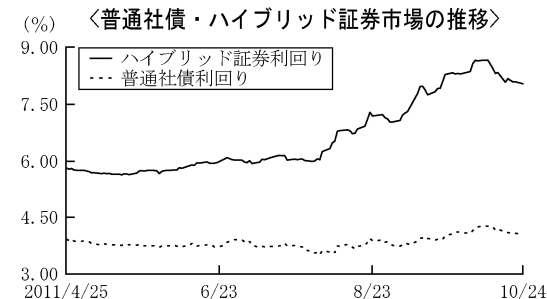
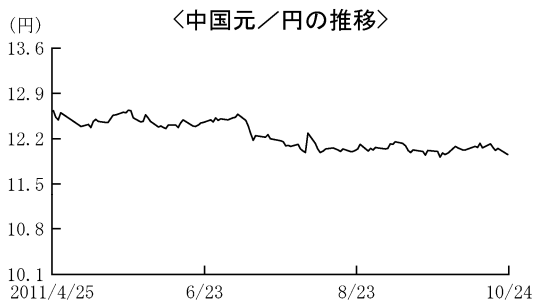
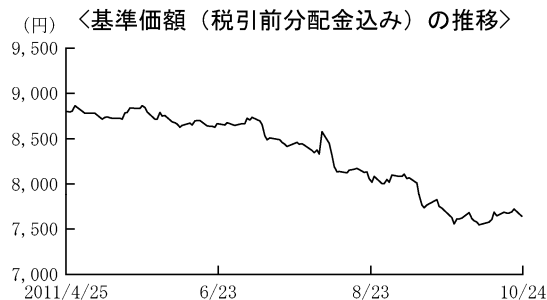
当作成期のハイブリッド証券市場は下落しました。

債務危機にあるギリシャがデフォルト（債務不履行）に陥るとの見方が強まる中、多額の財政赤字を抱える他のユーロ圏諸国にも悪影響が広がるとの懸念が高まりました。加えて、世界的に企業の景況感や一般消費者心理の弱含みが鮮明となる中で、今後世界が景気後退に陥るリスクも意識されました。このような環境下、金融市場ではリスク性資産を回避する動きが強まったことから、ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドは拡大傾向となり、ハイブリッド証券市場は下落しました。一方で、基準となる国債利回りについては、「質への逃避」による買い需要に支えられてドイツや米国の国債利回りが低下したため、ハイブリッド証券市場の上昇要因となりました。

中国元／円相場は、円高元安となりました。将来的な元の通貨切り上げ観測は依然根強いものの、米ドルが円に対して下落したことから、実質的に米ドルに連動している中国元も円に対して下落しました。

国内短期金融市場

日銀は政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を0～0.1%程度で維持しています。このため国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券の利回りは0.1%程度での安定した推移となりました。



※普通社債利回りはパークレイズ・キャピタル・グローバル総合：社債インデックスの利回り（*）、ハイブリッド証券利回りはパークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスの利回り（*）です。

（*）利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還（コール）もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

※パークレイズ・キャピタル・グローバル総合：社債インデックスは、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格社債市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

※パークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスは、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格優先証券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

<第16期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 4. 25	2011. 4. 28	2011. 5. 9 2011. 5. 17	2011. 5. 23
8,798円	8,866円	8,715円	8,833円 (分配金込み)

<第17期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 5. 23	2011. 5. 25	2011. 6. 23	2011. 6. 23
8,778円	8,808円	8,572円	8,572円 (分配金込み)

<第18期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 6. 23	2011. 7. 8	2011. 7. 22	2011. 7. 25
8,517円	8,627円	8,306円	8,338円 (分配金込み)

<第19期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 7. 25	2011. 8. 5	2011. 8. 15	2011. 8. 23
8,283円	8,414円	7,959円	7,967円 (分配金込み)

<第20期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 8. 23	2011. 8. 23	2011. 9. 26	2011. 9. 26
7,912円	7,912円	7,403円	7,403円 (分配金込み)

<第21期>

期首	期中高値	期中安値	期末
2011. 9. 26	2011. 10. 21	2011. 10. 7	2011. 10. 24
7,348円	7,438円	7,267円	7,361円 (分配金込み)

《運用経過》

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY) の組入比率は、原則として高位を維持し、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は7,306円となりました。第16期から第21期までの1万口当たりの収益分配金合計額330円を加算すると7,636円となり、前作成期末に比べ13.21%下落しました。

基準価額の騰落要因

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY) の基準価額が下落したため。

— ダイアムフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(CNY) —
基準価額の推移

当作成期末の基準価額は前作成期末に比べ12.82%下落しました。

基準価額の騰落要因

[下落要因] ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドが拡大したことや、中国元が対円で下落したこと。

[上昇要因] 主に投資を行った米国及び欧州市場の国債利回りが低下したこと。

DIAMマネーマザーファンド

基準価額の推移

当作成期末の基準価額は10,036円となり、前作成期末に比べ0.19%上昇しました。

基準価額の騰落要因

[上昇要因] コール・ローン等の短期金融商品を活用しつつ、国庫短期証券や政府保証債券等を組み入れ、安定的な利子等収益を確保したこと。

収益分配金

当作成期の収益分配金につきましては、利子・配当等収益より運用実績等を考慮し、1万口当たり55円とさせていただきます(当作成期合計分配金額330円)。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配金実績(1万口当たり)

第16期	(2011. 5. 23)	分配金	55円
第17期	(2011. 6. 23)	分配金	55円
第18期	(2011. 7. 25)	分配金	55円
第19期	(2011. 8. 23)	分配金	55円
第20期	(2011. 9. 26)	分配金	55円
第21期	(2011. 10. 24)	分配金	55円
当作成期合計分配金			330円

《今後の投資環境および運用方針》

当ファンドでは、引き続きダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY) を高位に組入れることを基本とした運用を行い、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長を目指します。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)

ハイブリッド証券市場は、短期的にはギリシャの債務問題の行方や財政赤字懸念の強い他のユーロ圏諸国への悪影響等を見極めつつ、不安定な相場動向が続くと予想します。金融市場は高い確率でのギリシャ国債のデフォルトを織り込み済みですが、実際にデフォルトに至った場合、一時的にせよ金融市場が一層混乱する可能性もあり、暫くは神経質な動きが継続すると見られます。

一方、中長期的には、ハイブリッド証券が国債を上回る投資リターンを確保すると予想しています。足元こそギリシャ問題を背景に悲観的な市場心理が支配的なものの、主要先進国の金融システムにおいて重要な金融機関については、ユーロ圏周辺国の国債関連の投資損失に伴って、当ファンドの主要投資対象である期限付劣後債まで棄損する可能性は依然として低水準です。また、主要先進国の国債利回りが過去最低水準となる中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の潜在需要は根強いと考えられます。金融市場に落ち着きが見え始めれば、ハイブリッド証券を物色する動きが再び活発化し、長期的には現在の信用スプレッド水準は低位に収斂すると予想します。

今後の運用方針としては、引き続き発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、主要先進国の金融システムにおいて重要な金融機関に継続投資します。銘柄選択では、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。また、既にEU(欧州連合)及びIMF(国際通貨基金)による救済に至ったギリシャ、ポルトガル、アイルランドの銀行が発行する証券については引き続き保有しない方針です。

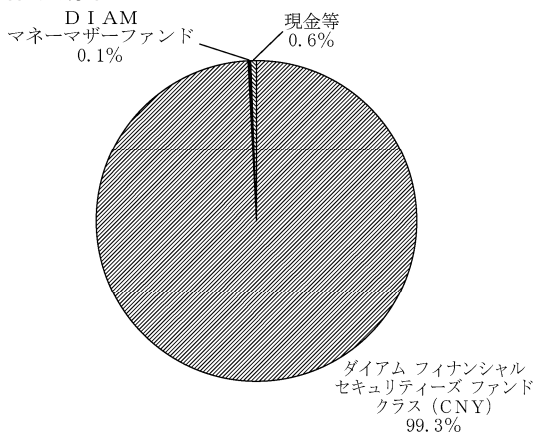
D I A M マネーマザーファンド

日本では物価の下落が続いています。日銀は引き続き緩やかな物価の上昇が見込めるまでは実質的なゼロ金利政策を維持する方針を示していることから、長期間に亘って0～0.1%程度の政策金利が維持されると考えられます。

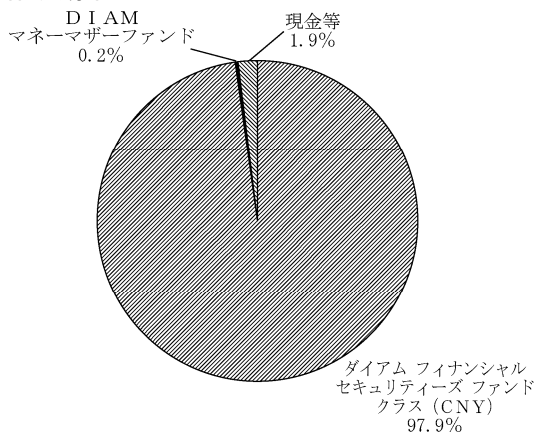
引き続き、国庫短期証券や政府保証債券等の比較的风险の少ない債券を中心に投資を行い、安定的な利子等収益の確保を目指します。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	第16期～第21期
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	54円 (20) (32) (2)
(b) 売買委託手数料 (新株予約権付社債(転換社債))	0 (0)
(c) 保管費用等	0
合 計	54

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及び保管費用等は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{経過日数}}{365}$
- (b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
- (c) 保管費用等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 保管費用等には、監査報酬等が含まれております。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

■売買及び取引の状況（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
投資信託受益証券

		第 16 期 ～ 第 21 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 邦貨建	ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズ ファンド クラス(CNY)	千口 —	千円 —	千口 69	千円 557,372

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2011年4月26日から2011年10月24日まで）
期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第3作成期末	第 4 作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(CNY)	口 261,961	口 192,611	百万円 1,381	% 97.9
合 計	261,961	192,611	1,381	97.9

(注) 比率は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第3作成期末	第 4 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 3,131	千口 3,131	千円 3,143

(注) 親投資信託合計の受益権口数は233,876千口です。

<補足情報>

■D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド の 組 入 資 産 の 明 細
8頁をご参照ください。

■投資信託財産の構成

2011年10月24日現在

項 目	第 4 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,381,603	% 96.4
D I A M マネーマザーファンド	3,143	0.2
コール・ローン等、その他	48,221	3.4
投資信託財産総額	1,432,967	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年5月23日)、 (2011年6月23日)、 (2011年7月25日)、 (2011年8月23日)、 (2011年9月26日)、 (2011年10月24日)現在

項 目	第 16 期 末	第 17 期 末	第 18 期 末	第 19 期 末	第 20 期 末	第 21 期 末
(A) 資 産	2,265,283,282円	2,076,213,057円	1,893,867,155円	1,718,146,472円	1,550,104,751円	1,432,967,970円
コール・ローン等	60,287,859	27,669,337	27,164,812	41,488,148	57,598,682	45,352,509
投資信託受益証券(評価額)	2,201,856,311	2,045,403,669	1,863,561,352	1,673,516,707	1,489,363,512	1,381,603,078
D I A M マネーマザーファンド(評価額)	3,139,112	3,140,051	3,140,991	3,141,617	3,142,557	3,143,183
未 収 入 金	-	-	-	-	-	2,869,200
(B) 負 債	44,541,326	15,685,068	16,587,834	20,285,634	17,024,738	21,208,403
未 払 収 益 分 配 金	13,914,138	13,306,913	12,465,056	11,802,125	11,475,526	10,627,295
未 払 解 約 金	28,341,154	-	1,842,027	6,617,650	3,562,468	9,090,075
未 払 信 託 報 酬	2,277,393	2,369,169	2,272,137	1,858,810	1,979,238	1,485,402
そ の 他 未 払 費 用	8,641	8,986	8,614	7,049	7,506	5,631
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,220,741,956	2,060,527,989	1,877,279,321	1,697,860,838	1,533,080,013	1,411,759,567
元 本	2,529,843,437	2,419,438,895	2,266,373,841	2,145,841,082	2,086,459,409	1,932,235,476
次 期 繰 越 損 益 金	△ 309,101,481	△ 358,910,906	△ 389,094,520	△ 447,980,244	△ 553,379,396	△ 520,475,909
(D) 受 益 権 総 口 数	2,529,843,437口	2,419,438,895口	2,266,373,841口	2,145,841,082口	2,086,459,409口	1,932,235,476口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,778円	8,517円	8,283円	7,912円	7,348円	7,306円

<注記事項>	2011年5月23日	2011年6月23日	2011年7月25日	2011年8月23日	2011年9月26日	2011年10月24日
期首元本額	2,602,429,678円	2,529,843,437円	2,419,438,895円	2,266,373,841円	2,145,841,082円	2,086,459,409円
期中追加設定元本額	1,440,008円	1,563,031円	1,433,041円	2,984,952円	14,893,215円	1,513,634円
期中一部解約元本額	74,026,249円	111,967,573円	154,498,095円	123,517,711円	74,274,888円	155,737,567円

■損益の状況

項 目	自 2011年4月26日 至 2011年5月23日	自 2011年5月24日 至 2011年6月23日	自 2011年6月24日 至 2011年7月25日	自 2011年7月26日 至 2011年8月23日	自 2011年8月24日 至 2011年9月26日	自 2011年9月27日 至 2011年10月24日
	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
(A) 配 当 等 収 益	16,573,092円	15,919,956円	14,908,639円	14,053,110円	13,454,405円	12,706,650円
受 取 配 当 金	16,571,586	15,918,323	14,906,687	14,051,255	13,451,659	12,703,917
受 取 利 息	1,506	1,633	1,952	1,855	2,746	2,733
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 5,332,029	△ 63,531,509	△ 53,052,652	△ 79,959,310	△ 117,270,166	△ 8,587,948
売 買 益	579,934	1,013,996	1,340,559	1,020,454	971,386	371,148
売 買 損	△ 5,911,963	△ 64,545,505	△ 54,393,211	△ 80,979,764	△ 118,241,552	△ 8,959,096
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,286,034	△ 2,378,155	△ 2,280,751	△ 1,865,859	△ 1,986,744	△ 1,491,033
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A + B + C)	8,955,029	△ 49,989,708	△ 40,424,764	△ 67,772,059	△ 105,802,505	2,627,669
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 297,873,857	△ 289,437,209	△ 330,222,836	△ 362,256,896	△ 426,548,892	△ 503,263,486
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 6,268,515	△ 6,177,076	△ 5,981,864	△ 6,149,164	△ 9,552,473	△ 9,212,797
(配 当 等 相 当 額)	(6,505,543)	(6,263,691)	(5,904,454)	(5,669,129)	(6,000,124)	(5,595,416)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 12,774,058)	(△ 12,440,767)	(△ 11,886,318)	(△ 11,818,293)	(△ 15,552,597)	(△ 14,808,213)
(G) 計 (D + E + F)	△ 295,187,343	△ 345,603,993	△ 376,629,464	△ 436,178,119	△ 541,903,870	△ 509,848,614
(H) 収 益 分 配 金	△ 13,914,138	△ 13,306,913	△ 12,465,056	△ 11,802,125	△ 11,475,526	△ 10,627,295
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 309,101,481	△ 358,910,906	△ 389,094,520	△ 447,980,244	△ 553,379,396	△ 520,475,909
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 6,268,515	△ 6,177,076	△ 5,981,864	△ 6,149,164	△ 9,552,473	△ 9,212,797
(配 当 等 相 当 額)	(6,505,543)	(6,263,691)	(5,904,454)	(5,669,129)	(6,000,124)	(5,595,416)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 12,774,058)	(△ 12,440,767)	(△ 11,886,318)	(△ 11,818,293)	(△ 15,552,597)	(△ 14,808,213)
分 配 準 備 積 立 金	69,605,598	66,764,380	62,669,230	59,644,424	57,575,440	53,870,757
繰 越 損 益 金	△ 372,438,564	△ 419,498,210	△ 445,781,886	△ 501,475,504	△ 601,402,363	△ 565,133,869

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第16期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (14,289,770円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (6,505,543円) 及び分配準備積立金 (69,229,966円) より分配対象収益は 90,025,279円 (1万口当たり355.85円) であり、うち13,914,138円 (1万口当たり55円) を分配金額としております。なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。(以下、各期間において同じ。)

第17期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (13,544,687円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (6,263,691円) 及び分配準備積立金 (66,526,606円) より分配対象収益は 86,334,984円 (1万口当たり356.84円) であり、うち13,306,913円 (1万口当たり55円) を分配金額としております。

第18期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (12,630,719円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (5,904,454円) 及び分配準備積立金 (62,503,567円) より分配対象収益は 81,038,740円 (1万口当たり357.57円) であり、うち12,465,056円 (1万口当たり55円) を分配金額としております。

第19期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (12,188,890円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (5,669,129円) 及び分配準備積立金 (59,257,659円) より分配対象収益は 77,115,678円 (1万口当たり359.37円) であり、うち11,802,125円 (1万口当たり55円) を分配金額としております。

第20期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (11,469,540円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (6,000,124円) 及び分配準備積立金 (57,581,426円) より分配対象収益は 75,051,090円 (1万口当たり359.71円) であり、うち11,475,526円 (1万口当たり55円) を分配金額としております。

第21期 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (11,217,100円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (5,595,416円) 及び分配準備積立金 (53,280,952円) より分配対象収益は 70,093,468円 (1万口当たり362.76円) であり、うち10,627,295円 (1万口当たり55円) を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
1 万口当たり分配金	55円	55円	55円	55円	55円	55円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「特別分配金」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が特別分配金、残りの額が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド

クラス（JPY）／クラス（AUD）／クラス（BRL）／クラス（CNY）

当ファンドは「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）」が投資対象とする円建外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍円建外国投資信託
投資方針および 主要投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ①主として先進国の金融機関が発行したハイブリッド証券に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。 ②銘柄選定にあたっては、個別企業のファンダメンタルズ分析、個別企業の属する国の政策、バリュエーション分析、流動性等を考慮し選定します。 ③取得時において、Moody's、S & PまたはFitch（複数の格付機関が付与している場合は最も高い格付）による個別銘柄格付が、BBB-相当以上の格付を有する銘柄を対象とします。ただし、保有期間中に上記基準未滿となった場合であっても、市場環境や個別銘柄に対する投資判断に基づき、継続保有することがあります。 ④原則として、ファンドの純資産総額に対する1発行体当たりの有価証券の時価総額の割合は4%以内とします。また、ファンドに組入れる発行体数は40発行体以上を基本とします。 ⑤当ファンドは、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）に投資しますが、この「原資産通貨」に対し、各クラス毎の通貨で為替ヘッジを行います。
投資顧問会社	DIAM International Ltd
受託会社	CIBC BANK AND TRUST COMPANY (CAYMAN) LIMITED
管理事務代行会社	Mizuho Trust&Banking Co. (USA)
保管銀行	Mizuho Trust&Banking (Luxembourg) S. A.

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドはケイマン籍円建外国投資信託で、2010年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下の「運用計算書および純資産変動計算書（損益計算書）」及び「投資計算書およびその他純資産計算書」等は、2010年12月31日現在の財務諸表の原文の翻訳を抜粋したものです。

運用計算書および純資産変動計算書
自2010年1月21日（設立日） 至2010年12月31日
（日本円建て）

期首現在純資産	—
収益の部	
利息	526,281,284
収益合計	<u>526,281,284</u>
費用の部	
投資運用報酬	52,124,024
監査報酬	1,994,448
管理事務・保管報酬	13,777,080
受託報酬	1,334,155
その他費用	1,281,557
費用合計	<u>70,511,264</u>
投資純利益	455,770,020
投資および為替予約契約による実現純利益	<u>719,787,465</u>
期中実現純利益額	719,787,465
投資による未実現利益／（損失）の純変動 為替予約契約による未実現利益／（損失）の純変動	(1,335,856,748)
	<u>204,015,174</u>
期中未実現純損失額	(1,131,841,574)
運用による純資産額の純変動（税引前）	43,715,911
源泉徴収税	<u>11,407,950</u>
運用による純資産額の純変動	32,307,961
受益権口発行収入	12,838,000,000
受益権口償還コスト	<u>(1,346,875,550)</u>
受益権口発行による純収入	11,491,124,450
分配金	<u>(1,284,198,682)</u>
期末現在純資産	<u>10,239,233,729</u>

投資計算書およびその他純資産計算書

2010年12月31日現在

(日本円建て)

1. 譲渡可能な上場債券

額面	詳細	通貨	取得原価	時価	対純資産比率%	
1,000,000	ABBEY NATL TREA	EUR	113,671,898	102,849,148	1.00%	
1,000,000	ABN AMRO BANK N	EUR	113,350,379	103,997,801	1.02%	
600,000	ALLIANC&LEIC BL	FXtoFL	103,603,288	87,738,205	0.86%	
1,800,000	AUST & NZ BANK	EUR	237,960,582	197,126,041	1.93%	
1,000,000	BANCO BILBAO VI	FXtoFL	128,822,329	88,881,068	0.87%	
1,000,000	BANK OF AMER CR	FXtoFL	117,777,127	97,461,643	0.95%	
1,000,000	BANK OF AMERICA CORP	VAR	118,291,117	97,311,625	0.95%	
1,000,000	BANQUE FED CRED MUTU	EUR	115,150,869	98,194,026	0.96%	
800,000	BARCLAYS BK PLC	FXtoFL	109,988,288	104,018,998	1.02%	
800,000	BARCLAYS BK PLC	EUR	106,864,808	87,379,453	0.85%	
600,000	BARCLAYS BK PLC	GBP	107,558,340	92,009,504	0.90%	
800,000	BNP PARIBAS	GBP	118,465,983	102,424,821	1.00%	
900,000	BNP PARIBAS IV	FXtoFL	112,638,817	95,811,662	0.94%	
1,400,000	CHUO MITSUI TRS	FXtoFL	127,444,132	114,079,058	1.11%	
1,000,000	CITIGROUP INC	FLOAT11/30/2017	EUR	112,379,070	99,449,463	0.97%
1,000,000	CITIGROUP INC	FXtoFL	113,992,069	98,889,910	0.97%	
1,000,000	CL CAPITAL TRUST	FX TO FL	119,376,790	105,534,047	1.03%	
1,800,000	COM BK AUSTRALI	EUR	244,098,357	201,592,429	1.97%	
1,000,000	COMMERZBANK AG	FXtoFL	123,520,812	100,516,536	0.98%	
900,000	CRED SUISSE CAP	FXtoFL	114,474,489	98,744,672	0.96%	
800,000	CRED SUISSE GP	GBP	118,289,147	104,671,791	1.02%	
700,000	CREDIT AGRICOLE	EUR	98,266,631	80,299,297	0.78%	
1,000,000	CREDIT AGRICOLE SA	FIX TO VAR	GBP	127,846,979	109,206,652	1.07%
1,000,000	CS GRP FIN (US)	FXtoFL	123,419,522	101,062,184	0.99%	
1,000,000	DANSKE BANK	FXtoFL	120,877,753	101,209,704	0.99%	
1,900,000	DEUTSCHE BANK A	EUR	220,652,343	205,819,298	2.01%	
1,000,000	DEUTSCHE BK CP	FXtoFL	106,713,477	96,083,237	0.94%	
900,000	DEXIA CRED LOCA	EUR	110,460,172	102,255,876	1.00%	
1,400,000	DNB NOR BANK AS	FXtoFL	220,737,247	195,333,422	1.91%	
1,000,000	FORTIS BNK SA/N	FXtoFL	122,103,135	104,990,897	1.03%	
900,000	FORTIS BNK SA/N	FXtoFL	112,526,439	96,400,023	0.94%	
900,000	GOLDMAN SACHS	EUR	106,794,955	85,549,939	0.84%	
1,100,000	GOLDMAN SACHS G	USD	101,228,212	94,357,309	0.92%	
1,000,000	GOLDMAN SACHS G	GBP	146,880,211	126,486,221	1.24%	
750,000	HSBC BANK PLC	FXtoFL	97,934,995	91,326,603	0.89%	
800,000	HSBC BANK PLC	GBP	112,797,139	99,452,682	0.97%	
1,000,000	HSBC CAP FUNDIN	FXtoFL	117,799,584	101,569,052	0.99%	
2,000,000	ING BANK NV	FXtoFL	219,180,650	200,812,552	1.96%	
800,000	ING BANK NV	FXtoFL	120,683,265	101,395,373	0.99%	
900,000	INTESA SANPAOLO	GBP	107,823,757	96,413,418	0.94%	
900,000	INTESA SANPAOLO	EUR	100,388,542	95,460,971	0.93%	
1,150,000	JP MORGAN CHASE	USD	110,998,639	103,415,533	1.01%	
700,000	JP MORGAN CHASE	GBP	97,637,239	90,971,275	0.89%	
1,000,000	JP MORGAN CHASE	VAR	124,112,804	101,913,843	1.00%	
1,000,000	KBC IFIMA NV	EUR	122,434,201	106,131,512	1.04%	
900,000	LLOYDS TSB BANK	FXtoFL	112,174,238	94,244,945	0.92%	
800,000	LLOYDS TSB BANK	FXtoFL	118,214,671	99,766,982	0.97%	
900,000	LLOYDS TSB BANK	EUR	109,892,325	89,808,377	0.88%	
1,000,000	MONTE DEI PASCH	EUR	106,860,408	106,502,809	1.04%	
1,200,000	MORGAN STANLEY	USD	122,260,342	109,574,107	1.07%	
1,100,000	MUFG CAP FIN2	FXtoFL	120,770,500	109,634,829	1.07%	
1,000,000	NATIONWIDE BLDG	EUR	110,971,220	102,482,521	1.00%	
800,000	NATIXIS	EUR	100,128,537	82,671,168	0.81%	
1,100,000	NATIXIS	FXtoFL	132,937,580	113,839,430	1.11%	
800,000	NATL AUSTRALIAB	FXtoFL	115,239,015	95,973,911	0.94%	
900,000	NATL AUSTRALIAB	EUR	113,496,497	93,409,135	0.91%	
1,200,000	NORDEA BANK AB	FX TO VAR	113,571,063	103,525,345	1.01%	
800,000	NORDEA BANK FNL	FXtoFL	113,157,316	101,045,441	0.99%	
800,000	NORINCHUKIN FIN	GBP	117,282,676	102,155,261	1.00%	
800,000	RABOBANK	EUR	102,391,023	94,936,017	0.93%	
1,000,000	RABOBANK	FXtoFL	115,003,738	104,847,601	1.02%	

額面	詳細	通貨	取得原価	時価	対純資産比率%	
1,000,000	RAIFF ZENTRALBK	FXtoFL 03/05/19	EUR	113,056,401	101,192,540	0.99%
1,000,000	RESONA BANK	FXtoFL PERP	EUR	117,010,360	107,407,914	1.05%
800,000	RESONA BANK	FXtoFL PERP	GBP	109,884,996	100,859,594	0.99%
900,000	ROYAL BK SCOTLN	6.00% 05/10/13	EUR	117,628,814	98,605,354	0.96%
900,000	ROYAL BK SCOTLN	6.934% 04/09/18	EUR	113,526,779	92,440,753	0.90%
700,000	SKANDINAV ENSKI	6.625% 07/09/14	GBP	107,759,545	97,183,467	0.95%
1,200,000	SMFG PREFERRED	FXtoFL PERP	USD	117,819,783	112,919,042	1.10%
1,500,000	SOCIETE GENERAL	5.40% 01/30/18	GBP	219,388,277	187,809,745	1.83%
900,000	STANDARD CHART	5.875% 09/26/17	EUR	123,318,185	102,034,042	1.00%
700,000	STANDARD CHART	7.75% 04/03/18	GBP	114,719,988	100,709,036	0.98%
800,000	STB FINANCE	FXtoFL PERP	GBP	111,711,146	100,849,472	0.98%
1,900,000	SUMITOMO MITSUI	4.00% 11/09/20	EUR	210,539,504	193,373,353	1.89%
1,000,000	SVENSKA HNDLSBK	FXtoFL PERP	GBP	132,602,738	126,359,565	1.23%
1,400,000	SVENSKA HNDLSBK	FXtoFL PERP	GBP	197,927,153	176,498,621	1.72%
1,700,000	SWEDBANK	FXtoFL 06/26/18	EUR	222,224,379	201,279,390	1.97%
900,000	UBS AG JERSEY	FXtoFL 09/16/19	EUR	114,973,873	95,648,489	0.93%
800,000	UBS AG JERSEY	FXtoFL 06/21/21	GBP	114,499,451	101,201,023	0.99%
800,000	UBS AG JERSEY	FXtoFL 11/19/24	GBP	108,987,954	104,783,340	1.02%
800,000	UNICREDITO ITAL	5.75% 09/26/17	EUR	108,738,535	85,887,051	0.84%
900,000	UNICREDITO ITAL	FXtoFL 10/16/18	GBP	133,195,748	111,187,340	1.09%
900,000	WACHOVIA BANK N	5.25% 08/01/23	GBP	119,171,848	103,119,382	1.01%
900,000	WACHOVIA CORP	4.375% 11/27/18	EUR	112,705,070	94,058,308	0.92%
800,000	WESTPAC BANKING	5.00% 10/21/19	GBP	110,084,863	101,562,899	0.99%
投資額合計				<u>10,603,843,121</u>	9,267,986,373	90.51%
現預金					554,629,249	5.42%
負債控除後その他資産					<u>416,618,107</u>	4.07%
純資産合計					<u>10,239,233,729</u>	100.00%

2010年12月31日	
クラスAUD (日本円)	
期末現在純資産額	406,002,326
期末現在1口当たり純資産額	9,659
クラスBRL (日本円)	
期末現在純資産額	6,386,490,872
期末現在1口当たり純資産額	9,007
クラスCNY (日本円)	
期末現在純資産額	2,272,930,679
期末現在1口当たり純資産額	8,424
クラスJPY (日本円)	
期末現在純資産額	1,173,809,852
期末現在1口当たり純資産額	9,539

為替先物予約

2010年12月31日現在、未決済の為替予約契約は下記の通りです。

満期日	購入通貨	金額	売却通貨	金額	未実現利益／(損失)
2011年1月31日	ユーロ	369,586	日本円	40,142,348	90,346
2011年1月31日	日本円	39,950,550	豪ドル	482,000	101,453
2011年1月31日	ユーロ	500,296	日本円	54,339,325	339,325
2011年1月31日	ユーロ	2,468,028	日本円	268,063,487	603,312
2011年1月31日	ユーロ	2,502,857	日本円	271,846,454	611,826
2011年1月31日	日本円	101,712,144	ユーロ	936,451	791,788
2011年1月31日	日本円	165,643,631	ブラジルレアル	3,400,000	1,015,068
2011年1月31日	日本円	54,149,185	中国元	4,400,000	1,187,518
2011年1月31日	日本円	269,515,261	中国元	21,900,000	1,719,367
2011年1月31日	豪ドル	5,600,000	日本円	464,155,777	6,523,777
2011年1月31日	日本円	447,963,916	ユーロ	4,124,349	9,668,084
2011年1月31日	日本円	2,639,356,444	ユーロ	24,300,233	18,367,336
2011年1月31日	日本円	751,061,341	米ドル	9,259,810	21,509,280
2011年1月31日	日本円	1,228,169,390	ユーロ	11,307,606	22,830,610
2011年1月31日	日本円	3,198,228,447	イギリスポンド	25,281,862	101,420,299
2011年1月31日	日本円	6,787,505,690	ユーロ	62,491,737	166,919,330
2011年1月31日	ユーロ	29,836,773	日本円	3,240,704,741	(58,944,005)
2011年1月31日	ブラジルレアル	141,800,000	日本円	6,908,313,766	(46,111,254)
2011年1月31日	中国元	214,000,000	日本円	2,633,619,452	(24,104,328)
2011年1月31日	ユーロ	6,985,899	日本円	758,769,635	(13,800,986)
2011年1月31日	ユーロ	1,505,091	日本円	163,474,606	(3,184,093)
2011年1月31日	イギリスポンド	797,014	日本円	100,824,533	(1,679,399)
2011年1月31日	ユーロ	499,744	日本円	54,279,469	(1,057,234)
2011年1月31日	日本円	267,952,932	ブラジルレアル	5,500,000	(492,757)
2011年1月31日	ユーロ	100,171	日本円	10,879,981	(211,916)
2011年1月31日	日本円	11,189,470	豪ドル	135,000	(97,573)
			合計		204,015,174

D I A Mマネーマザーファンド

運用報告書

第2期（決算日 2011年4月5日）

（計算期間 2010年4月6日～2011年4月5日）

「D I A Mマネーマザーファンド」は、「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）」が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当親投資信託の第2期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要運用対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにC D、C P、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
(設定日) 2009年10月29日	10,000	—	—	—	—	百万円 —
1期(2010年4月5日)	10,006	0.1	98.0	—	—	190
2期(2011年4月5日)	10,011	0.0	91.8	3.8	—	384

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2010 年 4 月 5 日	円 10,006	% —	% 98.0	% —	% —
4 月 末	10,007	0.0	97.5	—	—
5 月 末	10,010	0.0	99.2	—	—
6 月 末	10,010	0.0	98.4	—	—
7 月 末	10,013	0.1	98.4	—	—
8 月 末	10,017	0.1	98.4	—	—
9 月 末	10,015	0.1	95.9	3.6	—
10 月 末	10,018	0.1	92.0	3.6	—
11 月 末	10,015	0.1	90.3	3.6	—
12 月 末	10,020	0.1	92.5	3.6	—
2011 年 1 月 末	10,020	0.1	94.3	3.7	—
2 月 末	10,020	0.1	94.7	3.6	—
3 月 末	10,013	0.1	94.5	3.8	—
(期 末) 2011 年 4 月 5 日	10,011	0.0	91.8	3.8	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過 (2010年4月6日から2011年4月5日まで)



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2010. 4. 5	2011. 3. 14	2011. 3. 15	2011. 4. 5
10,006円	10,024円	10,000円	10,011円

《投資環境》

日銀は2010年10月初旬に政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を0.1%から0～0.1%程度に引き下げ、国債、社債等を組入れる資産買入れ基金を設立しました。また日銀は2011年3月の東日本大震災を受けて、資産買入れ基金の総額を増額するなど追加の金融緩和を行いました。このため国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券は0.1%程度で安定推移となりました。

《運用経過》

基準価額の推移

当期末の基準価額は10,011円となり、前期末に比べ0.05%上昇しました。

基準価額の騰落要因

[上昇要因] コール・ローン等の短期金融商品を活用しつつ、国庫短期証券、政府保証債券等を組み入れ、安定的な利子等収益を確保したこと。

[下落要因] 東日本大震災後に信用リスクプレミアムが拡大したこと。

《今後の投資環境および運用方針》

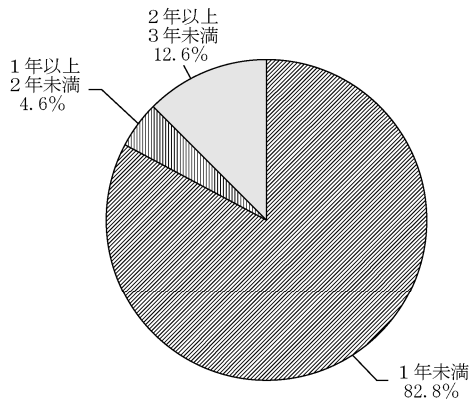
東日本大震災の影響により、当面の間日本経済には下押し圧力がかかると考えられ、日銀による更なる追加の金融緩和の可能性もある環境下、長期間に亘って0～0.1%程度の政策金利が維持されると考えられます。震災後の株式市場の急落を受けて、社債の利回りは上昇していますが、日銀の社債買い入れオペの枠は拡大されており、徐々に安定してくると思われられます。

引き続き、国庫短期証券や政府保証債券等の比較的风险の少ない債券を中心に投資を行い、安定的な利子等収益の確保を目指します。

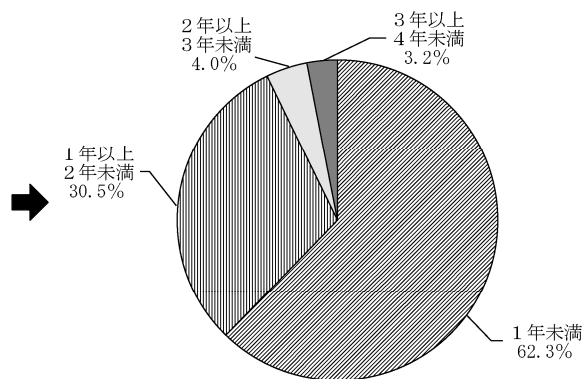
【DIAMマネーマザーファンドの運用状況】 ※比率は時価総額に対する割合です。

残存年限別構成比

期首（前期末）



当期末



■ 1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

当期に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況（2010年4月6日から2011年4月5日まで）

(1) 新株予約権付社債（転換社債）

	買 付		売 付	
	額	面 額	額	面 額
国 内	15,000	千円	—	千円
		14,723		—

(注) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(2) 公社債

国 内		買 付 額		売 付 額	
		額	面 額	額	面 額
	国 債 証 券	758,908	千円	721,984	千円 (127,000)
	地 方 債 証 券	59,046		—	(8,000)
	特 殊 債 券	231,934		100,000	(38,000)
	社 債 券	124,532		10,074	(500)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

■ 主要な売買銘柄（2010年4月6日から2011年4月5日まで）

(1) 国内新株予約権付社債（転換社債）

買 付	銘 柄	金 額		売 付	銘 柄	金 額	
		額	面 額			額	面 額
	第20回 シャープ転換社債	14,722	千円	—		—	千円

(注) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(2) 国内公社債

買 付	銘 柄	金 額		売 付	銘 柄	金 額	
		額	面 額			額	面 額
	第139回 国庫短期証券	189,964	千円	第139回 国庫短期証券		189,989	千円
	第125回 国庫短期証券	159,977		第125回 国庫短期証券		159,995	
	第160回 国庫短期証券	159,944		第160回 国庫短期証券		159,989	
	第805回 政保公営企業債券	100,600		第69回 政保預金保険機構債券		100,000	
	第69回 政保預金保険機構債券	100,013		第66回 国庫短期証券		59,994	
	第107回 国庫短期証券	69,986		第95回 国庫短期証券		59,989	
	第124回 国庫短期証券	69,986		第124回 国庫短期証券		39,993	
	第175回 国庫短期証券	69,982		第175回 国庫短期証券		29,993	
	第150回 国庫短期証券	19,994		第223回 利付国庫債券（10年）		12,039	
	第12回 野村ホールディングス社債	15,244		第294回 北陸電力社債		10,073	

(注) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

■利害関係人との取引状況等（2010年4月6日から2011年4月5日まで）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 国内新株予約権付社債（転換社債）

銘 柄		当 期	
		額 面 金 額	評 価 額
第20回 シャープ転換社債		千円 15,000	千円 14,700
合 計	金 額	千円 15,000	千円 14,700
	銘 柄 数 ・ < 比 率 >	1銘柄	<3.8%>

（注）評価額欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(2) 公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 40,000	千円 39,992	% 10.4	% —	% —	% —	% 10.4
地 方 債 証 券	57,530	57,779	15.0	—	—	—	15.0
特 殊 債 証 券	140,000	140,961	36.6	—	—	—	36.6
普 通 社 債 証 券	112,300	114,506	29.8	—	—	3.0	26.8
合 計	349,830	353,240	91.8	—	—	3.0	88.8

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の割合です。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)				
第175回 国庫短期証券	—	40,000	39,992	2011/06/06
小計	—	40,000	39,992	—
(地方債証券)				
第573回 東京都公募公債	1.400	7,100	7,111	2011/05/25
第6回 かながわ県民債（7年）	1.040	10,000	10,040	2011/12/27
第4回 京都府京都みらい債	1.500	8,200	8,228	2011/08/04
18年度1回 あいち県民債	1.520	10,450	10,484	2011/07/27
18年度5回 千葉県公募公債	1.220	10,500	10,543	2011/10/25
19年度 兵庫県市町共同公募債	1.300	11,280	11,372	2012/05/09
小計	—	57,530	57,779	—
(特殊債券)				
第314回 政保道路債	1.000	14,000	14,180	2012/12/20
第805回 政保公営企業債券	1.400	100,000	100,461	2011/08/24
第814回 政保公営企業債券	1.400	13,000	13,161	2012/04/26
第817回 政保公営企業債券	1.300	10,000	10,138	2012/07/25
第8回 政保住宅金融公庫債券	1.300	3,000	3,020	2011/11/21
小計	—	140,000	140,961	—
(普通社債券)				
第12回 野村ホールディングス社債	1.720	15,000	15,226	2012/06/18
第45回 小田急電鉄社債	1.180	9,000	9,023	2011/07/25
第2回 東日本旅客鉄道社債	4.900	10,000	11,627	2015/02/25
第55回 日本電信電話社債	1.220	9,000	9,120	2012/10/31
第18回 N T T ドコモ社債	1.000	10,000	10,106	2013/03/27
第483回 東京電力社債	1.400	6,000	5,973	2011/06/15
第489回 東京電力社債	1.390	10,000	9,859	2011/11/15
第356回 中国電力社債	1.200	10,000	10,123	2012/09/25
第442回 東北電力社債	1.420	8,700	8,802	2012/06/25
第269回 四国電力社債	1.100	8,000	8,009	2011/05/25
第270回 四国電力社債	1.000	1,300	1,305	2011/11/25
第406回 九州電力社債	1.040	5,300	5,327	2011/12/15
第305回 北海道電力社債	0.380	10,000	10,001	2012/12/25
小計	—	112,300	114,506	—
合計	—	349,830	353,240	—

■投資信託財産の構成

2011年4月5日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債（転換社債）	14,700	3.8
公 社 債	353,240	91.8
コール・ローン等、その他	16,679	4.4
投資信託財産総額	384,619	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	384,619,771円
コール・ローン等	5,971,786
公社債(評価額)	353,240,330
新株予約権付社債(転換社債)(評価額)	14,700,000
未収入金	10,073,900
未収入利息	570,835
前払費用	62,920
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	384,619,771
元 本	384,200,391
次 期 繰 越 損 益 金	419,380
(D) 受 益 権 総 口 数	384,200,391口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,011円

<注記事項>

※ 期首元本額	190,500,649円
期中追加設定元本額	276,571,220円
期中一部解約元本額	82,871,478円
※ 期末における元本の内訳	
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>:	870,000円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>:	530,000円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>:	70,000円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>:	10,530,000円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<円コース>:	49,969,451円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<米ドルコース>:	9,985,926円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<豪ドルコース>:	29,966,347円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<ブラジルリアルコース>:	199,782,900円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<ロシアルーブルコース>:	3,498,142円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<インドルピーコース>:	7,987,898円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<中国元コース>:	9,989,518円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<南アフリカランドコース>:	4,994,660円
みずほ世界不動産投信(通貨選択型)<マネーボールファンド>:	964,058円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<円コース>:	1,281,836円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<豪ドルコース>:	444,955円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<ブラジルリアルコース>:	7,138,903円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<中国元コース>:	3,131,909円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>:	149,716円
D I A M人民元債券ファンド:	42,914,172円
期末元本合計:	384,200,391円

■損益の状況

当期 自2010年4月6日 至2011年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,575,805円
受 取 利 息	2,575,805
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,591,827
売 買 益	13,986
売 買 損	△2,605,813
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 16,022
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	120,144
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 129,522
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	444,780
(G) 計 (C + D + E + F)	419,380
次 期 繰 越 損 益 金	419,380

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。